令和6年度 第3回 海老名市環境審議会 次第

日時:令和6年10月9日(水)14時00分

場所:政策審議室

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 諮問
- 5 議事
- (1) [諮問事項] 自然緑地保全区域の指定解除について 第140号 (資料1) ※指定区域の一部解除となります。
- (2) [諮問事項] 環境基本計画等見直しについて (資料2)
- (3) [報告事項] 海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の 実施結果について (資料3)
- 6 その他
- 7 閉会

諮問事項

自然緑地保全区域 指定解除 (一部)

指定番号	申請所在地番	樹種	面	積
	中 明/八江北西田	/ 図 / 里	変更前	変更後
140	海老名市国分北三丁目3677-2(1)	マツ	1, 146 m²	821. 39 m²

解除面積:324.61 m²

〇案内図



○写真





○指定解除(一部)の理由

土地利用(宅地造成)のため

※当初指定年月日:平成9年4月1日







海老名市第三次環境基本計画等の見直しについて

- 主な修正点
 - ① 当初策定以降の社会情勢の変化・法改正に対応する時点修正
 - ② 海老名市ゼロカーボンシティ宣言・昨年度調査業務の結果を反映





③ 施策の方針毎の個別目標を見直し 目標指標に紐づかないもの、廃止された事業に関するものなどを見直し

【例】

	個別目標						
施策の方針【目標指標】	見直し前	見直し後					
地球温暖化対策を推進します 【市域からの温室効果ガス 排出量】	市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減個人住宅用太陽光発電導入状況エネファーム導入状況低公害車の導入状況	・ 個人住宅用太陽光発電導 入状況 集約					
循環型社会を形成します 【家庭系可燃・資源ごみ 排出量】	・ リサイクル率・ 事業系ごみ排出量・ 市庁舎におけるごみ排出量・ 生ごみ処理機の普及率	・ リサイクル率・ 生ごみ処理機の普及率集約					

④ 地球温暖化対策実行計画を内包



⑤ 排出量削減目標値を修正(ゼロカーボン)

⇒2013 年比で 2030 年に 50%、2050 年に実質 0%

⑥ 長期的視点での温暖化対策

教育

- ♪ 小・中学校向け教育プログラム の導入 ※
- > 子供向け啓発事業
- ▶ ゼロカーボン給食

中小企業

- ▶ 商工会議所を対象にした講演会
- ▶省エネ診断実施支援
- > 公共施設の省エネ診断



省エネ

- ▶ 建物断熱化促進 (省エネリフォーム助成)
- ➢ 公共施設照明のLED化



連携

- ▶ 連携都市との協力
- ▶ 県事業の積極活用
- ▶ 近隣自治体との連携
- ▶ 民間企業との連携



○今後の予定

令和6年 10月9日 環境審議会(諮問)

12月 パブリックコメント実施

令和7年 2月 環境審議会(答申)

3月 改定・公表

計画書の基本的な構成と見直しにおけるポイント

第1章 計画の基本的事項

計画改定に至った経緯、背景や、計画の対象とする範囲、計画期間等について整理します。

特に令和2年3月の当初策定時以降の世界・国内の動向について、最新の情報に更新します。また、令和4年11月の海老名市ゼロカーボンシティ宣言を反映します。

第2章 本市の環境の現状と課題

本市の自然的・社会的条件について整理し、環境面の現状を把握するととも に、課題を確認します。

特に、令和5年度に実施した調査の結果等を踏まえ、温室効果ガス排出量等 を最新の情報に更新します。

第3章 本計画が目指す姿

第1章~第2章を基に、望むべき将来像について定めます。

第4章 環境未来像実現に向けた取り組み

第3章で定めた将来像を実現するため、実際の取組みと、取組ごとの達成度 の指標とする目標値について定めます。

当初策定時に定めた指標・目標について、事業進捗等を考慮し見直しを行います。

第5章 海老名市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

これまで別に策定していた海老名市地球温暖化対策実行計画を内包し、環境基本計画の中の地球温暖化対策について詳細に規定する章として位置付けます。

区域施策編は、海老名市全域の地球温暖化対策としての取組みについて、市 民、事業者、行政それぞれが取組むべき事項について定めます。

第6章 海老名市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

事務事業編は、事業者として海老名市役所が、自ら取り組む地球温暖化対策について位置付けます。市のあらゆる事務事業から排出する温室効果ガスの削減に向けた対策について定めます。

第7章 計画の推進体制と進行管理

計画推進にあたっての推進体制と、進行管理手法について定めます。

第1章 計画の基本的事項

1.1 計画改定の経緯及び主旨

令和2年3月の当初作成以後、特に地球温暖化対策における対応が求められていることから、計画改定を行うに至った経緯について記載します。

1.2 計画改定の背景

1.2.1 地球温暖化の影響

近年、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの大気中濃度の急上昇に伴う地球温暖化が大きな問題となっていること、国際機関が公開する地球温暖化問題に関する評価報告書等において、地球温暖化問題について、現在では人類の寄与は疑いのないものとされていることについて述べます。

また、地球温暖化に伴う甚大な自然災害とその影響、気候変動による 水や食料の不足、生態系の損失、さらには気温上昇に伴う熱中症などの 健康被害などについて触れます。

1.2.2 国際社会及び国や県の動向

国連の気候変動条約締約国会議(COP)におけるパリ協定やグラスゴー合意等の内容を記載するとともに、国の法律改正によるゼロカーボンに向けた目標設定、気候変動適応の必要性が示されたことについて記載します。

また、神奈川県においても地球温暖化対策の改定により、ゼロカーボンの目標が示されたことにも触れます。

1.2.3 生物多様性の危機への対応

生物多様性の保全や、外来種に対する対応について記載します。 国の取組み計画については、最新の情報に更新します。

1.2.4 資源や食糧需給へのひっ迫への対応

世界人口の増加による資源・食料の不足が予想されること、これらへの対応として、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラ新法)の施行や第五次循環型社会形成推進基本計画の閣議決定についても触れます。

1.2.5 持続可能な開発に向けた取り組みの推進

SDGs の概要と自治体の役割について記載します。

1.3 計画改定の基本的な考え方

改定における基本的な考え方として、①ゼロカーボンシティ宣言のための施策の追加、②地球温暖化対策実行計画の内包による温暖化対策の加速を明記します。

1.4 計画の位置づけ

市環境基本条例に基づき本計画を定めることを明記するほか、各種法律や市の各種計画にとの整合について記載します。

1.5 計画の期間

現行の計画は令和11年(2029)までを計画期間としていますが、今回の 改定で地球温暖化対策実行計画を内包することに伴い、令和12年(2030) 年まで計画期間を1年延長します。

1.6 計画が取り扱う環境と対象範囲

1.6.1 環境の範囲

本計画の対象範囲は、海老名市環境基本条例の第7条で定められている施策の策定に係る指針、令和4(2022)年11月の海老名市ゼロカーボンシティ宣言、及び近年における環境課題等を踏まえて定めます。

1.6.2 対象範囲

海老名市全域を対象とし、大気や水環境、地球環境等、広域的な対応 が必要な事項については、国や県、周辺自治体との連携や地球全体を視 野に入れた計画とします。

1.7 計画の主体と各主体の役割

計画の主体は、市、市民、事業者であり、それらの役割は環境基本計画に定めるとおりとします。

第2章 本市の環境の現状と課題

2.1 自然的条件

2.1.1 気候

平均気温・平均降水量を最新の情報に更新します。

2.1.2 地形 地質

当初策定時から変化はありませんが、昨年度の調査で明らかになった地質の 情報を追加します。

2.1.3 自然環境

河川や水田、斜面緑地について記載します。

2.2 社会的条件

2 2 1 位置 · 交通

本市の位置や面積、鉄道や道路交通網について整理します。大きな変更はありません。

2.2.2 人口 - 世帯数

交通網の充実や商業施設の充実などを背景に、市の人口は増加を続けており、令和5年7月に発表した、2038年をピークとする新たな人口推計の情報を整理します。

2.2.3 土地利用

令和3年の調査結果に基づく土地利用のデータに更新します。

2.3 環境面における現状

2.3.1 地球温暖化

市域からの温室効果ガスの排出量、市の事務事業からの温室効果ガス排出量など、データを更新します。

2.3.2 廃棄物処理 資源循環

ごみ排出量やリサイクル率の推移など、データを更新します。

2.3.3 緑・生きもの

航空写真を基にした緑被分布現況図を更新します。 近年繁茂が問題になっている特定外来植物ついても記載します。

2.3.4 生活環境

河川水質の測定結果についてデータを更新するほか、大気、化学物質等の測定状況を記載します。

2.3.5 地域資源

都市環境、農業、景観、歴史遺産といった地域資源について整理します。

2.3.6 環境教育 • 学習

環境展や講師派遣など、市の環境関連の情報発信の状況について整理します。

2.4 現状における課題

2.4.1 本市の環境における課題

これまでの課題に加えて、昨年度の調査で判明した、ゼロカーボンシティ実現に向けた課題を、環境面の課題に盛り込みます。

2.4.2 課題等を踏まえた本計画改定の方針

- 第1章から第2章のここまでに整理した内容を踏まえて、
- ①第三次環境基本計画をベースとしてさらなる発展を図ること
- ②地球温暖化の影響の激化を踏まえ、地球温暖化対策のさらなる強化 の2点を基本的な考え方として、改定に係る基本方針を以下のとおり とします。

【地球環境保全の取組のさらなる拡充】

【個別環境保全施策の改良】

第3章 本計画が目指す姿

3.1 基本理念

環境基本条例に基づき、3つの考え方の基本理念とします。

- 1 良好な環境の確保、将来世代への継承
- 2 地球環境問題への対応
- 3 持続可能化社会の構築

3.2 環境未来像及び基本方針

環境未来像

「みんなが笑顔 にぎわいと自然が共生するまち」

基本方針

- 1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます
- 2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します
- 3 "海老名らしさ"を守り、育み、将来に引き継ぎます
- 4 みんなで海老名の環境を考え、行動します

施策の方針

- 1-1 地球温暖化対策の推進を通して豊かで安全・安心な暮らしを実現します
- 1-2 循環型社会を形成します
- 1-3 緑・水・生きものと共生します
- 2-1 水環境を守ります
- 2-2 生活環境を守ります
- 3-1 都市環境の整備により住みやすく快適な脱炭素社会を実現します
- 3-2 農地を守ります
- 3-3 地域資源を守ります
- 4-1 環境を考え、行動します

また、施策の方針毎に、22の基本施策を定めます。

環境未来像及び基本方針は修正しませんが、施策の方針及び施策については地球温暖化対策の必要性が高まっていることを踏まえて、修正を行います。

3.3 本計画における SDGs とのつながり

3.3.1 環境未来像

計画に定める施策に、SDGs のゴールを関連付けて、さらなる計画の推進を図ります。

3.3.2 基本施策・施策の方針

本計画の施策の方針に関連する代表的な SDG s のゴールと関連する具体的な取組を整理します。

第4章 環境未来像実現に向けた取り組み

4.1 取組の構成

第3章で定めた9つの施策の方針毎に、目標指標とその達成に向けた個別目標を定めます。

個別目標については、当初策定以降の事業進捗も考慮しながら、重点的に 取組むべき目標に厳選し、注力します。

4.2 具体的な取組

施策の方針	目標指標	個別目標
地球温暖化対策を推	市域からの温室効果ガス排出量	個人住宅用太陽光発電
進します		導入状況
循環型社会を形成し	一日あたりごみ排出量	リサイクル率
ます		
緑・水・生きものと共	生き物とのふれあいに対する意識	生物多様性に関する情報の発
生します	(環境アンケート:地域の生きもの	信回数
	とのふれあいについて良い、やや良	
	いと回答した人の割合)	
水環境を守ります	河川水質環境基準達成状況	水洗化率
		公共下水道の普及率
生活環境を守ります	大気環境基準達成状況	公害・環境に関する相談件数
都市環境を整備しま	これからも海老名に住みたいか(市	シェアサイクル利用者数
す	政アンケート: ずっと住みたい、で	
	きれば住み続けたいと回答した人	
	の割合)	
農地を守ります	農地面積	農作業受委託面積
地域資源を守ります	自然景観への満足度(環境アンケー	歴史関連イベント・講座参加
	ト:相模川や農地等の自然景観が良	者数
	い、やや良いと回答した人の割合)	
環境を考え、行動しま	環境への関心度 (環境アンケート:	環境関連情報発信回数
す	以前と比べて関心度合いが高くな	啓発・出前講座参加者数
	ったと回答した人の割合)	

第5章 海老名市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

海老名市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)は、地球温暖化対策の推進に関する法律 第21条第4項において、市町村が策定することが努力義務とされているものです。現在の計画は令和2年3月に策定され、計画期間は令和12年までとなっています。

ゼロカーボンシティ宣言を行ったことから、地球温暖化対策をさらに推進するため、令和7年度に予定していた中間見直しを、環境基本計画の中間直しにあわせて1年前倒しして実施します。

区域施策編は、海老名市全域における地球温暖化対策に関する計画であり、ゼロカーボンシティの実現に向けた重要な項目となります。

策定にあたっては、「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル(算定手法編)」(環境省、令和5年3月:以下「マニュアル」とします)に従い、また令和5年度に実施した調査結果で算定した数値を準用します。

5.1 市内のエネルギー需要及び温室効果ガス排出量の現状

5.1.1 計画の対象とする部門及び温室効果ガス

マニュアルに定められている運輸部門、家庭部門、産業部門、業務その他部門、廃棄物部門を対象とします。運輸部門については、本市の規模では鉄道を対象とすることは義務付けられていませんが、周辺自治体と比較して鉄道網が発達する本市の状況を鑑みて、鉄道による排出量も対象とします。

計画の対象とするガスは二酸化炭素とします。

5.1.2 エネルギー需要及び温室効果ガス排出量の推計方法

各種統計値を用いた推計を行いますが、より海老名市の実態に近づいた推計とするため、マニュアルで認められている範囲内で、推計に使用する統計の種類を決定します。

5.1.3 エネルギー使用量

各年度、業務その他部門の排出量が最も多くなっています。2020年のみ、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、家庭部門の排出量が増加し、それ以外の部門の排出量が減少しています。

エネルギー種別毎の使用量では、化石燃料が最も多く、特に運輸部門で、本市全体の使用量の半分を占めています。再生可能エネルギーの比率はとても低くなっています。

5.1.4 温室効果ガス排出量

エネルギー使用量と同様のほぼ傾向です。運輸部門については、ガソリン・軽油といった、温室効果ガス排出量の多い化石燃料の比率が高い

ため、エネルギー使用量に対して温室効果ガス排出量が高くなっています。

5.1.5 国・県と比較した本市の温室効果ガス排出量の特徴

国・県の排出量との比較を行います。海老名市は、産業部門・廃棄物部門の排出割合が少なく、家庭部門・業務その他部門の排出割合が高くなっています。これは、国・県に比べて重工業の割合が低いこと、車の保有比率が高いこと、廃棄物の総量が少ないことなどを示していると思われます。

5.2 温室効果ガスの削減目標

5.2.1 削減目標の設定

国目標に準拠し、2013 年を基準として、短期目標を 2030 年に 50%削減、中長期目標を 2050 年に排出量実質ゼロとします。

5.2.2 エネルギー需要及び温室効果ガス排出量の将来推計

人口推計等も考量しながら、エネルギー需要及び温室効果ガス排出量 の将来推計結果について記載します。

5.2.3 2030年の削減目標達成のための温室効果ガス削減量

排出量の将来推計から、これを実質ゼロにするために必要な削減量について記載します。

5.2.4 市内の再生可能エネルギーのポテンシャル

海老名市における再生可能エネルギー導入のポテンシャル(可能性) や、活用の優先度について記載します。

海老名市では、導入の実現性のある再生可能エネルギーは、太陽光発電のみとなります。地中熱や太陽熱の利用については、可能性はあるものの、費用の面であまり現実的ではありません。

5.3 将来ビジョンと脱炭素社会の実現に向けたシナリオ

5.3.1 将来ビジョン

脱炭素に取り組むことで実現する、ゼロカーボンシティの将来ビジョンを示します。第3章で定める環境未来像とも整合する将来ビジョンとします。

5.3.2 各取り組みの内容

将来ビジョン達成のための、個別の施策について定めます。第4章で 定める地球温暖化対策への取組みとの整合を図ります。

5.3.3 取組の優先順位

ゼロカーボンシティの実現に向けては、エネルギー由来の排出量を削減することが最も重要ですが、再生可能エネルギーの導入にあたっては、廃棄や景観といった、他の環境面への影響も考慮することが必要です。2030年の短期目標の達成に向けた取り組みを行う一方で、中長期目標の達成のためには、長期的視点で優先順位を決定することも必要です。そのため、効果が出るまでに時間を要するもの、早期に着手すると他の分野への波及効果が期待できるものなど、長期的な視点で優先的に取組む施策を決定します。

5.4 2050 年ゼロカーボンに向けた展望

5.4.1 温室効果ガス吸収量の強化

ゼロカーボンシティの実現に向けて、化石燃料や化石燃料由来の電力を全く使わないということは考えにくいため、どうしても発生する排出量を実質ゼロにするため、吸収量の強化が必要です。海老名市は森林面積が少なく、また今後の増加も期待しにくいため、吸収量の強化にはカーボンクレジットの利用の検討や、姉妹都市との排出量取引の検討、CCUS 等先進技術の開発への期待について記載します。

5.4.2 再生可能エネルギーのさらなる活用

エネルギー消費における再生可能エネルギーの割合が低いことから、 さらなる活用が必要となります。今後期待される新技術や、廃棄物焼却 に伴う発電および熱の供給について記載します。

第6章 海老名市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

事務事業編は、地球温暖化対策推進に関する法律 第21条第2項に基づき市町村が策定するもので、事業者としての海老名市が取組む地球温暖化対策について定める計画です。

6.1 計画の基本的事項

6.1.1 計画の目的

市の事務事業における排出量を削減し、地球温暖化防止、ゼロカーボンシティの実現に寄与するとともに、その取組を公表することで、市民・事業者等の意識の高揚を図り、地域の地球温暖化対策を推進することを目的とします。

6.1.2 計画の対象範囲

計画の対象範囲とする市の公共施設を明記します。原則としてすべての公共施設が対象となります。

6.1.3 計画の対象とする温室効果ガス

区域施策編同様、二酸化炭素を対象とします。

6.1.4 計画の期間等

計画の期間は、現行の計画を引き継ぎ令和12年(2030年)とします。

6.2 温室効果ガスの排出状況

6.2.1 現状

各公共施設からの排出量の現状を把握します。計画見直しにあたり、 直近の排出量のデータに更新します。

近年、電気使用量は減少していますが、都市ガスの使用量が増加傾向にあります。

6.2.2 課題

排出量削減に向けた課題を整理します。近年は、人口増加に対応する ため、公共施設の新築が続いており、排出量削減に対する取組の効果を 減少させてしまっていると考えられます。

6.3 計画実行の目標

計画の目標は、国の目標や市内全域の目標同様、2013 年を基準として、 短期目標を2030年に50%削減、中長期目標を2050年に排出量実質ゼロとし ます。

6.4 目標達成に向けた取り組み

6.4.1 取組の基本方針

取組に向けた基本方針を以下の3つとします。また、それぞれの基本 方針による削減量の目標を定めます。

- 1 職員一人ひとり及び関係者の環境配慮の推進
- 2 設備機器の運用改善
- 3 設備機器の更新

6.4.2 職員一人一人の取組み

クールビズやウォームビズ、照明のこまめな消灯、紙資源の使用削減 など、職員一人一人が行う取組みについて定めます。

6.4.3 設備機器の運用改善の取組み①

設備機器の点検や清掃、エネルギー使用量の把握と分析など、適切な 運用と保守管理の取組について定めます。

6.4.4 設備機器の運用改善の取組み②

高効率な設備機器への更新や、建物断熱性能の向上など、設備更新の 取組について定めます。

6.4.5 公共事業での取り組み

公共工事における再生材の利用、施設の緑化など、環境配慮に配慮した委託業務の実施など、公共事業での取組について定めます。

6.4.6 事務局の取組み

職員の意識啓発の他、国・県の政策に係る情報把握と庁内周知、各公 共施設の地球温暖化対策に関する取組支援など、事務局による取組につ いて定めます。

第7章 計画の推進体制と進行管理

計画の推進体制と進行管理の手法について定めます。

7.1 計画の推進体制について

計画の推進にあたっては、市だけでなく、市民、事業者の他、諮問機関である海老名市環境審議会、あるいは国・県・他自治体など、各主体が役割に応じた取組を進めるとともに、各主体が協働することで効果的に推進することが必要です。各主体に求められる役割について定めます。

7.2 計画の進行管理について

7.2.1 海老名環境マネジメントシステムの体系について

環境基本計画及び内包する地球温暖化対策実行計画の進行管理は、市 独自の海老名環境マネジメントシステムで管理します。

7.2.2 PDCA の流れについて

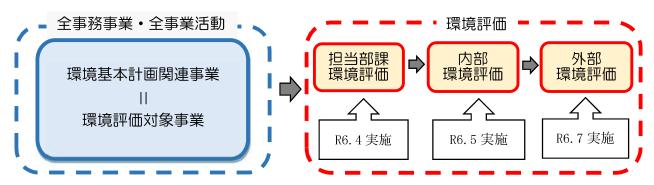
海老名環境マネジメントシステムによる進行管理は、内部評価・外部 評価と結果の公表による見直し、環境評価対象事業の選定と実施という サイクルによって行います。

海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の実施結果について

海老名環境マネジメントシステム(EMS)における取組みとして、令和5年度事業を対象に実施した環境評価の結果を別添の「環境評価結果報告書」として取りまとめましたので、概要を以下のとおり報告します。

1 環境評価の概要

EMSでは海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。環境評価対象事業については事業所管課において調書を作成し、事業が環境に与える負荷を最小限なものとなるよう努めています。なお、環境評価は原則として当該調書を基に実施しました。



2 環境評価の実施結果

環境評価対象事業は9つの目標指標に係る施策の方針と目標指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業があり、担当部課環境評価及び内部環境評価については29の事業ごとに、外部環境評価は9つの施策ごとに、4段階の基準に基づいて評価を行いました。

環境評価基準	担当部課 環境評価	内部 環境評価	外部 環境評価
4:計画を上回る環境配慮を実施できた。	0事業	1事業	0 施策
3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	25事業	24事業	8施策
2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	4事業	4事業	1 施策
1:ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった。	0事業	0事業	0施策

一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された施策や事業があるものの、全体的には、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

3 外部環境評価における主な意見

外部環境評価を実施する中で、海老名環境マネジメントシステム専門部会委員の皆様から多くのご意見をいただきました。体系ごとの評価を踏まえた総括的な意見の概要は次のとおりです。

①取組み活動

「地球温暖化対策」では、市独自活動で可能な個別指標を掲げ懸命に努力している点は評価できます。「循環型社会形成」で事業系ごみ、市庁舎ごみで苦労していますが、市は市民に対して模範となることが求められます。法令等の遵守・削減に向けた取り組みはもちろんのこと、市庁舎ごみの取り扱いについては、適正に管理・廃棄を行う必要があります。「緑・水・生き物との共生」は、自然相手でもあり困難は理解できるが、しっかり単年度目標を立てることが肝要です。

■②目標設定

┃ 個別目標に向かった活動は全体として成果につながっていますが、一部では目標管理の ┃ 不備、目標の見直し、単年度目標の不明確など今後の目標管理の徹底が必要です。

また、各施設からのごみの取り扱いについては、自ら見直す仕組みを構築してはいかがでしょうか。

13全体

全担当部課では真面目に活動に取り組み成果にもつながっています。

しかし、市としての全体の環境活動の取り組みで i 目標管理の不備 ii 不適合事項是正処置に再発防止がない iii 内部環境監査が法令監査にとどまり E M S の仕組みの監査が、外れている、などの課題を残しています。

「海老名環境マネジメントシステム」を活動の基盤とするならば、今一度「環境マネジメントシステム」の基本からの見直しをすべきと思います。

4 今後の取扱い

評価結果及び意見については、庁内に展開して、さらなる改善に努めてまいります。 また、市の環境に関する取組みをまとめた冊子である「えびな環境白書」に掲載して、 公表することにより、市の取組み状況を市民等に周知してまいります。

海老名環境マネジメントシステム 環境評価

令和5年度実施事業 環境評価結果報告書

令和6年10月 経済環境部 環境政策課

目 次

1	海老名環	境マネ	ベジメ	ン	h :	シブ	ステ	- 스	に	つ	い	て	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	EMSの	主な耶	収り組	み	•			•	•	•	•	•	•		•	•		•	•	•	•	•		•		1
3	環境評価	の概要	Ę • •		•			•		•		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
4	環境評価	iの実施	亚体制					•		•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
5	環境評価	iの実施	迺結果	•	•			•		•	•	•	-		•	•	•	•	•	•				•		2
6	外部環境	評価 <i>σ</i>)結果		•			•	•			•	-		•	•		•	•							3
7	環境評価	i結果 <i>σ</i>	活用	及で	び!	公才	長 •	•	•			•	-		•	•		•	•	•						4
海老	き名環境マ	ネジメ	ソント	シ	ス ・	ティ	노수	앏和	5	年	度	実	施	事訓	業 J	環坩	竟詞	平	価	結	果					

1 海老名環境マネジメントシステムについて

本市では、平成13年度に環境に関する国際規格のISO14001の認証を取得し、PDCAサイクルに基づく業務改善と環境負荷の軽減に努めてまいりました。認証取得後15年が経過し、市職員には環境負荷軽減に対する意識が浸透し、また、PDCAサイクルに基づき事業へ取り組む姿勢を培うことができました。

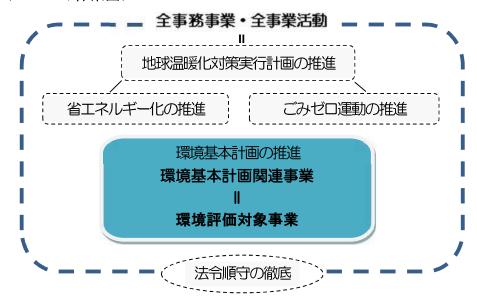
こうした中、これまでのISO14001における取組を踏まえつつ、より効率的で効果的な環境配慮活動を推進するため、市独自のマネジメントシステムである「海老名環境マネジメントシステム(EMS)」を新たに構築し、平成29年4月より運用しています。

2 EMSの主な取り組み

EMSでは、「全ての事務事業・事業活動における環境配慮の日常化」と「環境法令等の順守の徹底」に向けてし、以下の取組を実施しております。

- ア 環境基本計画の推進
- イ 地球温暖化対策実行計画の推進
- ウ 環境法令等の順守
- エ 職員への研修

<EMSの体系図>



3 環境評価の概要

海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。各事業の所管課では、環境評価対象事業について調書を作成し、その調書に基づいて環境基本計画の進行管理を実施しています。各事業の推進状況は、事業を実施した翌年度に環境評価を実施し、継続的な改善に努めていきます。

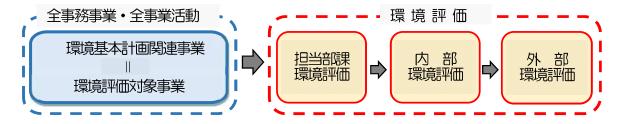
4 環境評価の実施体制

環境評価は、所管課による担当部課環境評価、内部環境評価委員による内部環境評価、海老名市環境審議会海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部環境評価の3段階で実施します。

<段階別評価の概要>

① 担当部	課評価
対象	環境評価対象事業
実施概要	前年度に実施した環境評価対象事業の取り組み状況を自己評価する。
評価者	事業の所管課等
② 内部環	境評価
対象	担当部課評価実施後の環境評価対象事業
実施概要	担当部課環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。
評価者	内部環境評価委員 (内部環境監査委員)
③ 外部環	境評価
対象	内部環境評価実施後の環境評価対象事業
実施概要	内部環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。
評価者	外部環境評価委員(環境審議会EMS専門部会委員)

<環境評価のイメージ>



5 環境評価の実施結果

令和5年度に実施された環境評価対象事業は9つの目標指標に係る施策の方針と目標 指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業です。担当部課評価及び内部環境評価につい ては事業ごとに、外部環境評価は施策の方針ごとに、4段階の基準により評価しました。

<環境評価の実施時期>

担当部課評価	令和6年4月
内部環境評価	令和6年5月
外部環境評価	令和6年7月

<環境評価基準別の評価結果>

環境評価基準	担当部課 環境評価	内 部環境評価	外 部 環境評価
4:計画を上回る環境配慮を実施できた	0事業	1事業	0施策
3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた	25事業	24事業	8施策
2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった	4事業	4事業	1施策
1:ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった	0事業	0事業	0施策

6 外部環境評価の結果

外部環境評価では、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された体系や事業があるものの、全体としては、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

<外部評価の総括意見>

① 取組み活動

「地球温暖化対策」では、市独自活動で可能な個別指標を掲げ懸命に努力している点は評価できます。「循環型社会形成」で事業系ごみ、市庁舎ごみで苦労していますが、市は市民に対して模範となることが求められます。法令等の遵守・削減に向けた取り組みはもちろんのこと、市庁舎ごみの取り扱いについては、適正に管理・廃棄を行う必要があります。「緑・水・生き物との共生」は、自然相手でもあり困難は理解できるが、しっかり単年度目標を立てることが肝要です。

② 目標設定

個別目標に向かった活動は全体として成果につながっていますが、一部では目標管理の不 備、目標の見直し、単年度目標の不明確など今後の目標管理の徹底が必要です。

また、各施設からのごみの取り扱いについては、自ら見直す仕組みを構築してはいかがでしょうか。

③ 全体

全担当部課では真面目に活動に取り組み成果にもつながっています。

しかし、市としての全体の環境活動の取り組みでi目標管理の不備ii不適合事項是正処置に 再発防止がないiii内部環境監査が法令監査にとどまりEMSの仕組みの監査が、外れている、 などの課題を残しています。

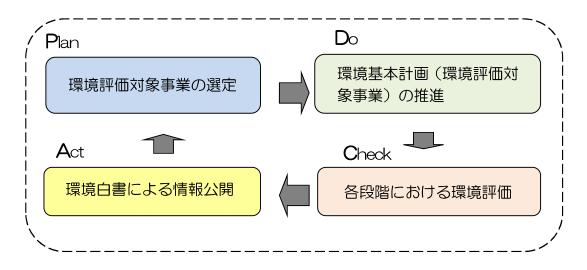
「海老名環境マネジメントシステム」を活動の基盤とするならば、今一度「環境マネジメントシステム」の基本からの見直しをすべきと思います。

7 環境評価結果の活用及び公表

環境評価の結果及び意見については、市職員に展開し、事務事業の改善を促すことで、 全庁的な環境配慮をさらに向上するためのツールとして活用していきます。

また、毎年、市で取りまとめている「環境白書」に環境評価結果及び意見を掲載し、ホームページ等を通じて市民に公表することで、市で行っている環境配慮活動を周知するとともに、市民の環境配慮への意識の醸成を図ります。

<EMS環境評価のPDCAサイクル>



海老名環境マネジメントシステム 令和5年度実施事業 環境評価結果

環境評価対象事業環境評価調書 (令和5年度実施事業)

施策	事業	ページ
1-1 地球温暖化対策を推進し ます	市の事務事業における温室効果ガス排出量 個人住宅用太陽光発電導入状況(補助制度累計 kw 数) エネファーム導入状況(補助制度累計台数) 低公害車の導入状況(補助制度累計台数)	1~6
1-2 循環型社会を形成します	リサイクル率 事業系ごみ排出量 市庁舎におけるごみ排出量 生ごみ処理機の普及率(補助制度実績)	7~12
1-3 緑・水・生きものと共生 します	自然緑地保全区域面積・樹木数 緑化に関する情報の発信回数 生物多様性に関する情報の発信回数	13~17
2-1 水環境を守ります	水洗化率 公共下水道の普及率 水循環に関する情報の発信回数	18~22
2-2 生活環境を守ります	大気環境基準達成状況 コミュニティバス利用者数 騒音に関する相談件数	23~27
3−1 都市環境を整備します	道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活 道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合) 美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数 えびなクリーン作戦参加者累計数	28~32
3-2 農業地を守ります	農作業受委託面積 市民農園利用者数 農業体験イベント参加者数	33~37
3-3 地域資源を守ります	郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数 歴史関連イベント・講座参加者数	38~41
4−1 環境を考え、行動します	環境関連情報発信回数 啓発・出前講座参加者数 海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数 海老名市地域緑化事業への登録団体数	42~47

	【令和6年度評価】外部評価シート(令和5年度分)											
基本	方針			施策の方針								
1 地球にやさしい社会の実現に 向けて取り組みます				1 地球温暖化対策を推進します								
目標	 指標			A 7								
(現状値(年度))	(目標値(年度))		令和5年度実績								
市域からの温室	効果ガス排出量											
1, 055千t-C02 (平成28年度)	7 9 4 千t-00 (令和 1 1 年度			828千t-C02(令和3年度実績)								
個別指標	B. C.	担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント								
市の事務事業における温温	室効果ガス排出量	3	3	本庁舎等、LED化の導入が図られ、エネルギー使用量の削減 や環境配慮活動への呼びかけ、CO2排出量の削減に向け て意識が向上した。								
個人住宅用太陽光発電導	入状況	3	3	関係機関への周知啓発を図った結果、昨年度より申請数が 増え、目標を上回る結果となったため、概ね計画通りの環 境配慮を実施できたと判断します。								
エネファーム導入状況		3	3	目標を達成することはできなかったが、関係機関への周知 啓発を図った結果、昨年度より申請数が増えたため、概ね 計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。								
低公害車の導入状況		3	3	昨年度より申請数は減ったが、関係機関への周知啓発を 図った結果、目標を上回る結果となったため、概ね計画通 りの環境配慮を実施できたと判断します。								
		Я	卜部評 価	<u> </u>								
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。								

判断理由及び評価内容

活動状況から3と評価します。

今後の活動として、下記取り組んでいただきたい。

- 1-a、調査結果から分かった市だけでなく市民・事業者の積極的取り組みが必要、をどう具体策で実施するか進めてください。
- 1-b、補助金にたよらない手段、(県の進める共同購入やO円ソーラー)など周知促進できるか具体策を考え実施してください。
- 1-c、予算枠を分けることで令和5年に回復した実績をさらに展開してどうしたらさらに普及できるか考えて実行してください。
- 1-d、民間の普通充電無償設置や充電設備新設の市補助(平成24年に設けた制度、現在対象外)を復活する対策等を具体化して実施し、成果につなげていただきたい。

担当部	<u>度評価 環境管理計</u>	<u>画•環境評価調賞</u>	<u>(令和5年度</u>	<u>'77')</u>		事業コード	1 - 1 -
	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	環境共生係
	但	別指標の内容			現状値(年度)	目標	票値(目標年度)
市の事務	事業における温室郊	カ果ガス排出量			11, 077t-C02 (H28/201	6) 6, 900t-0	02 (R11/2029
計画体系	基本方針				<u></u>		
の位置付	(十 施束の万針	1-1地球温					
	関連する目標指	標 市域からの温			環境管理計画		
	主な取組	 lの概要	11 TH O T 13	. 尹勿尹木	目標値への達成見込		予算額
	地球温暖化対策実行				8,828t-C02		
	エネ性能の高い設備			İ	(2,249t-C02削減)		<u> </u>
を図ると 発に取組。	ともに、施設管理者みます。	1~利用有の有-	- 个 息 碱 合	達成率:78.	2%		-
201-1/1/12	. , 5, , ,		前年度事務事		<u>- 70</u> り発見した課題等		
		導入、全庁的な	節電周知等の	の施策は実施	苞されたが、その一方、		
	あるとともに、人口 <u>寄与しているか見</u> 様		るために公共	施設の増設	・増築等もあり、昨年	度同様どの程度	度排出量削減に市の
<u>4×小口のナル</u> 3・		<u>ないノルで四 夫比。</u>	令和5年度	事務事業に	系る環境影響		
	有益影響				有害影響		
地球温	暖化の抑制		・省エネコ	事による図	室棄物の増加		
>C >> (IIII.)	100X 1014 × 244 (14)						
	想定されるコミュニケ	ーション			コミュニケーションイ	への対応	
温室効	果ガス削減に関する	5相談	 ・省エネ <i>0</i>)情報収集及	が提供		
111111111111111111111111111111111111111	>(-1X1-) NG1111	71000		- 113 TK-1X-2 C/2	CO 1/C V		
÷ +> 0 0 0 0-	+田の柳西		令和5年	度事務事業	実施結果		口描法法式中结
土仏拟組稿	詰果の概要 ┃・環境マネジメン	トシステムに其	づく職員研値	- 一届音音の変	- 園取組状況の確認等を通	ゴドで省エネに	目標値達成実績
	対する意識向上に			> \	3.1人心中心,2.4年的2.4.5.5 万		9,852t-C02
令和3年度			用量の削減や	2環境配慮流	舌動の呼びかけを行うと	:同時に、取組	(1,225t-C02削源
	状況の把握に努め ・防犯灯のLED		囲での省エス	と設備の道見 の は の は の は の に の は の に の に の に の に の に の に の に 	人が図られました。		達成率:70.0%
					園 りんりの さん。 園取組状況の確認等を通	自じて省エネに	是/2/1:10:07
	対する意識向上に	努めました。					9,825t-C02
令和4年度	★ ・公共施設におけ 状況の把握に努め		用量の削減や	2環境配慮活	舌動の呼びかけを行うと	:同時に、取組	(1,252t-C02削洞
			可能な範囲で	での省エネ語	殳備の導入が図られまし	た。	達成率:70.2%
							0 697+ 609
	・環境マネジメン 対する意識向上に		づく職員研修	₹や環境 配原	憲取組状況の確認等を 通	自じて省エネに	(1,390t-C02削漏
				シュ四 (本金) (本文)			(1,0000 002 111 0
令和5年度	・公共旭畝にねけ	るエネルギー使	用量の削減の	ご 現 児 肥 偲ん	5動の呼びかけを行うと	:同時に、取組	
令和5年度	状況の把握に努め	ました。				:同時に、取組	
令和5年度		ました。				: 同時に、取組	
	状況の把握に努め	ました。 化が完了し、省	エネ設備の	享入が図ら れ		: 同時に、取組	
令和5年度	状況の把握に努め ・本庁舎のLED の事務事業における変	ました。 化が完了し、省	エネ設備の	享入が図ら れ		一同時に、取組	
令和5年度	状況の把握に努め ・本庁舎のLED	ました。 化が完了し、省	エネ設備の	享入が図ら れ		一同時に、取組	
令和5年度 変更点	状況の把握に努め ・本庁舎のLED ^の の事務事業における変 なし ゼロカーボンに向	ました。 化が完了し、省 更点及び実施に』	エネ設備の導	算入が図られ 項等			達成率:71.2%
令和5年度	状況の把握に努め・本庁舎のLEDの事務事業における変なし	ました。 化が完了し、省 更点及び実施に』	エネ設備の導	算入が図られ 項等	1ました。 関査をし、それらを各種		達成率:71.2%
令和5年度 変更点 課題等	状況の把握に努め ・本庁舎のLED での事務事業における変 なし ゼロカーボンに向 必要がある。	ました。 化が完了し、省 更点及び実施によ けてどのような	エネ設備の製 3 り発見した課題 取り組みが最	算入が図られ 項等	nました。 間査をし、それらを各種 環境評価	1計画に落とし	達成率:71.2%
令和5年度 変更点	状況の把握に努め ・本庁舎のLED での事務事業における変 なし ゼロカーボンに向 必要がある。	ました。 化が完了し、省 更点及び実施に』	エネ設備の製 3 り発見した課題 取り組みが最	算入が図られ 通等 必要なのか記	1ました。 関査をし、それらを各種	1計画に落とし	達成率:71.2%
令和5年度 変更点 課題等	状況の把握に努め ・本庁舎のLED での事務事業における変なし なし ゼロカーボンに向 必要がある。	ました。 化が完了し、省 更点及び実施によ けてどのような F価	エネ設備の報 の発見した課題 取り組みが収 令和5年	算人が図られ 項等 必要なのか記 E度事務事業	れました。 間査をし、それらを各種 環境評価 判断理由及び	試計画に落とし 内容	達成率:71.29 込み取り組んでい
令和5年度 変更点 課題等	状況の把握に努め ・本庁舎のLED での事務事業における変 なし ゼロカーボンに向 必要がある。	ました。 化が完了し、省 更点及び実施によ けてどのような F価	エネ設備の報 の発見した課題 取り組みが収 令和5年 本庁舎等、	算入が図られ 項等 必要なのか記 E度事務事業 LED化の導	nました。 間査をし、それらを各種 環境評価	意計画に落とし 内容 一使用量の削減	達成率:71.2% 達成率:71.2% 込み取り組んでい 域や環境配慮活動へ
令和5年度変更点課題等評価区分担当部課	状況の把握に努め ・本庁舎のLED での事務事業における変 なし ゼロカーボンに向 必要がある。	ました。 化が完了し、省 更点及び実施によ けてどのような F価	エネ設備の報 の発見した課題 取り組みが収 令和5年 本庁舎等、	算入が図られ 項等 必要なのか記 E度事務事業 LED化の導	れました。 間査をし、それらを各種 環境評価 判断理由及び 入が図られ、エネルギ	意計画に落とし 内容 一使用量の削減	達成率:71.2% 達成率:71.2% 込み取り組んでい 域や環境配慮活動へ
令和5年度変更点課題等評価区分担当部課	状況の把握に努め ・本庁舎のLED での事務事業における変 なし ゼロカーボンに向 必要がある。	ました。 化が完了し、省 更点及び実施によ けてどのような F価	エネ設備の製 5 り発見した課題 取り組みが製 令和 5 句 ・ 本庁舎等、	算入が図られ 項等 必要なのか記 度事務事業 LED化の導 け、CO2技	れました。 間査をし、それらを各種 環境評価 判断理由及び 入が図られ、エネルギ	意計画に落とし 内容 一使用量の削減	達成率:71.2% 達成率:71.2% 込み取り組んでい 域や環境配慮活動へ
令和5年度変更点課題等評価区分担当部課	状況の把握に努め ・本庁舎のLED で事務事業における変 なし ゼロカーボンに向 必要がある。 3:概ね計画通 実施できた。	ました。 化が完了し、省 更点及び実施に けてどのような F価 りの環境配慮を	エネ設備の製造 19発見した課題 取り組みが製	算入が図られ 項等 必要なのか記 でである。 でである。 でである。 でである。 にED化の導入 境評価の専入 LED化の導入	れました。 調査をし、それらを各種 環境評価 判断理由及び 入が図られ、エネルギ・ 非出量の削減に向けて意	記計画に落とし 内容 一使用量の削減 一使用量の削減 一様の削減や環境	達成率:71.29 込み取り組んでい 成や環境配慮活動へ 意配慮活動への呼び

<u> </u>	評価 環境管理計	画•環境評価調	書(令和5年度		事業コード	1 — 1 —
旦当部	経済環境部	担当課	環境政策課		担当係	環境共生係
	. 值	固別指標の内容	•	現状値(年度)	目標	漂値(目標年度)
國人住宅用	因太陽光発電導入物	犬況(補助制度	:累計kw数)	8, 649kw (H30/201	13, 000	kw (R11/2029
	基本方針	1 地球に	やさしい社会	 見に向けて取り組みます		•
計画体系よ	佐竿の士針		温暖化対策を打			
の位置付け	関連する目標指		温室効果ガス	3. E.		
	> t. T- //		令和5年原	事業環境管理計画	137	72 AM AT
	主な取組	1,7024		目標値への達成見	.达	予算額
効果を高め	゚ フスタイルや環境 うるため、海老名市 ニ対し、経費の一部	方内に太陽光発	電施設を設	10389kw		9, 200 千
力。 				室: 79.9%		
			前年度事務事	施により発見した課題等		
	である電気自動車の ドランスを検討する			光発電の申請枠を削られる	こととなった。	今後、他の設備等補
			令和5年原	事業に係る環境影響		
	有益影響			有害影	響	
	ヾ事業者における省 ニネルギー使用量削		・再エネ	入工事による廃棄物の増加	DП	
	想定されるコミュニケ	一ション		コミュニケ ー ショ	ンへの対応	
補助内容	『に関する意見・雰	更望	・補助内領	直し		
			令和5年	務事業 実施結果		
な取組結		I Dominion of the				目標値達成実績
î和3年度	太陽光発電施設へ 件数:76件 を 取組実績 ・住宅展示場等の ・駅間自由通路に ・申請手続きを代	制助額:9,226, 関係機関へポン デジタルポスク	スター、パン ターを掲載	トを配布 発事業者への事前の要望		10079kw 達成率:77.5%
î和4年度	太陽光発電施設へ 件数:44件 権 取組実績 ・住宅展示場等の ・開発事業者への	甫助額:5,506, 関係機関へポン				10369kw
	・申請手続きを代		メーカー等への	申請の促進		達成率:79.8%
う和5年度	太陽光発電施設へ 件 数:67件 権 取組実績 ・住宅展示場等の ・開発事業者への	甫助額:7,660, 関係機関へポン	, , , , , , ,			10786kw
	・申請手続きを代	行するハウス		申請の促進		達成率:83.0%
和5年度0)事務事業における変	で更点及び実施に	より発見した課題			
変更点	なし					
課題等	市域内のCO2削	減に向けて重乳		、さらなる普及策について	て検討します。	
			令和5年	務事業 環境評価 		
評価区分	i i	平価		判断理由及	ひ内容	
旦当部課 環境評価	3:概ね計画通 実施できた。	的の環境配慮		知啓発を図った結果、昨年め、概ね計画通りの環境で		
内部環境評价	西 3:概ね計画通 実施できた。	もりの環境配慮	を前年と比較となったこ	価の内容を支持します。 助実績が増加しており、行 評価できると思います。 ⁴ れることを期待します。		

令和6年月	一种 環境管理語	十画•環境評価調畫	· <i>(令和5年度</i>	<i>分)</i>		事業コード	1 — 1 — c		
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	環境共生係		
	1-7111234	個別指標の内容			現状値(年度)		景値(目標年度)		
エネファー		助制度累計台数)			210台(H30/2018)	430台			
	基本方針		<u>、ナーハサム</u>	の宝珥に向け	ナて取り組みます		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
計画体系-	施笙の方針				ノし取り組みより				
の位置付け		旨標 市域からの温							
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			ま事務事業 ま	環境管理計画				
	主な取	組の概要			目標値への達成見込		予算額		
		境に配慮する意識 市内にエネファー			600 千円				
	けし、経費の一部		3.21	**** **		-			
			5万亩市双市	達成率:69.5	,				
			刊年度事務事	耒の美施により)発見した課題等				
申請件数次	が伸びていないこ	とから、環境啓発			服発信を継続していく。				
	有益影響		令和5年度事務事業に係る環境影響 有害影響						
[円 日 杉 音				
	バ事業者における □ネルギー使用量	削減	・再エネ詞	设備導入工事	による廃棄物の増加				
	想定されるコミュニク	ケーション			コミュニケーションへ	<u>、の対応</u>			
・補助内名	ドに関する意見・	要望	・補助内名	字の見直し					
			令和5年	F度事務事業	実施結果				
主な取組結	果の概要 エネファームへ <i>0</i>	I Dat de /eb					目標値達成実績		
令和3年度		261台							
	エネファームへの	<u>代行するハウスメーク の補助実績</u>	, ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., .,	- 1 291 1 HI3	//C/C		12//1		
令和4年度	・件数 4件・補助額 240,0取組実績・住宅展示場等の・開発事業者への	00円					265台 達成率:61.6%		
エネファームへの補助実績 ・件 数 13件 ・補助額 780,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター ・開発事業者への事前の要望							278台		
<u> </u>		代行するハウスメ			促進		達成率:64.7%		
☆和5年度(ル事務事業における	変更点及び実施によ	り発見した課	退 券					
変更点	なし								
課題等	市域内のCO2肖	 削減に向けて重要	な施策である	るため、さら	なる普及策について検	 討します。			
			令和5年	F度事務事業					
評価区分		評価			判断理由及び	内容			
担当部課 環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を 実施できた。 目標を達成することはできなかったが、関係機関への馬 昨年度より申請数が増えたため、概ね計画通りの環境配 します。								
内部環境評	価 3:概ね計画 実施できた。	通りの環境配慮を	への周知原 評価できる	答発活動によ	支持します。目標台数 り、申請件数を前年度 取り組みを継続するこ す。	よりも増やす	ことができたことは		

令和6年度	呼価 環境管理計画	7-環境評価調書	<u>(令和5年</u> 月	E 分)		事業コード	1 — 1 — d	
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	環境共生係	
	個5	別指標の内容			現状値(年度)	目標	摽値(目標年度)	
低公害車の導入状況(補助制度累計台数)					170台(H30/2018)	500台	(R11/2029)	
ᅴᇑᄼᅜᅎᆫ	基本方針	1 地球にや	さしい社会	の実現に向い	 ナて取り組みます			
計画体系上 の位置付け	施策の方針	1-1地球温						
WIE (11.7	関連する目標指標	市域からの温		.排出量 度事務事業 - 環	*************************************			
	主な取組の	D概要	市和5年月	せまり はまた で	関係では計画 目標値への達成見込		予算額	
キ 足のラノ:	フスタイルや環境		むし少テラ		320台		7 97 02	
	スクイルで環境 るため、海老名市I					5,300 千円		
	された方に対し、						-	
		-	前年使事務事) J発見した課題等			
エコカーフ:	ェスタの開催によ				きたことから、電気目	動車の申請件	数が大幅に伸びた。	
隆の低公害	車が製造され購入				本等の補助額と差があ			
を検討する。	<u> </u>		△和5年8	度事務事業に係				
	 有益影響		TI THO THE	メチリカヂ木には	ではなり音 有害影響			
· 市民及7以	事業者における省	エネの推進		La - Modadi :				
	ネルギー使用量削		・低公害』	軍の製造によ	る廃棄物の増加			
	定されるコミュニケー	·ション			コミュニケーションイ			
・補助内容は	こ関する意見・要!	望	・補助内容	容の見直し				
			△和 5 名	丰度事務事業	宇体结里			
な取組結果	 の概要		111110-	+汉尹勿尹木	大心和不		目標值達成実績	
	公害車への補助実							
	・件 数 17件(電気自動車13件、燃料電池自動車 4 件) ・補助額 3,550,000円 反組実績						226台	
	住宅展示場等の関			フレットを配	布			
	駅間自由通路にテ		ーを掲載				達成率:45.2%	
	公害車への補助集 供 数 79件 (電		比 燃料電油	1自動車0件)				
△和4左曲 .	・件 数 79件(電気自動車 79件、燃料電池自動車0件) ・補助額 11,850,000円						305台	
取	取組実績							
	任名展示場等の関 駅間自由通路にテ		ペスター、パンフレットを配布 ターを掲載				達成率:61%	
	公害車への補助実		2 79年				X 1 . 01 / 0	
•	件 数 53件(電	気自動車 53件	4、燃料電池	1自動車0件)				
	補助額 7,950,00)0円					358台	
	組実績 住宅展示場等の関	係機関へポス	ター・パン	フレットを配	右			
	駅間自由通路にテ			, , , , CHC	. 114		達成率:71.6%	
和5年度の	事務事業における変更	更点及び実施によ	り発見した課題	題等			•	
変更点な	: L							
5								
課題等「電	気白動車のさらた	る善及に向け	早間に上	ス玄雷設備の	設置促進策について検	計します		
环起 寸 电	スロ新生りごりな	の自及に同じ	、 以间(C み)	3元电区畑ッ		RETUCK 7.0		
== /== /\	==-1	-	令和5年	丰度事務事業		1 -4-		
評価区分	評化	曲			判断理由及び	内容		
日北京部	3・触り計画速。	の得倍配度な	昨年度 - 1	2 中津粉が	こったが、関係地則への	国知政政なの	○を紅甲 日博かし	
旦当部課 環境評価	3:燃ね計画通り 実施できた。	ノソ界児門思と			ったが、関係機関への 、概ね計画通りの環境			
				_ 5 / 10/00/	, pur-elence / */ */******************************		C1CC 14H1 O 0 10	
			担当部課題	 景境評価の内				
内部環境評価	3:概ね計画通り	の環境配慮を	前年と比輔	変し補助実績	の減少はみられますが			
小儿子好什么	実施できた。				評価できます。周知を	継続し、市内]の低公害車の導入が	
			進むこと	を期待します	0			

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和5年度分)
目標指標(目標値(年度))	令和5年度実績
市域からの温室効果ガス排出量 (794千t-CO2(令和11年度))	828千t-C02(令和3年度実績)
D上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み こと考える取組みについて以下に記入してください	
)記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
O記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
○海老名SDGs環境マイレ―ジ事業や環境展を通 みを促し、市域内における温室効果ガス削減への意	
)電気自動車用急速充電器(市庁舎)を運用するこ 生を図りました。	とで、電気自動車ユーザーの利便
○環境保全対策支援事業において、環境基本計画の 用リチウムイオン蓄電池やHEMSの導入補助を行 推進しました。	
)ウオームビズや省エネ月間の広報記事掲載を通じ りました。	て、市民への省エネ意識啓発を図

【令和6年度評価】外部評価シート(令和5年度分)							
基本	方針		施策の方針				
1 地球にやさし 向けて取り	い社会の実現に 組みます		2 循環型社会を形成します				
目標:	指標						
(現状値(年度))	(目標値(年度))	令和5年度実績				
一人1日あたりごみ排出量	』(家庭系の可燃・〕	資源)					
6 5 0 g (平成 2 8 年度)				5 1 0 g			
担当 個別指標 部語 評価				目標指標進捗に関する所管課コメント			
リサイクル率			3	昨年度と比較すると割合は減少しているものの、レジ袋の有料化や企業等による脱ブラの動きがさらに促進されており、ブラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率減少の一因になっていると考える。組成分析を実施し、資源物の別入を確認しているため、今後も啓発は継続していく。			
事業系ごみ排出量		2	3	新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたことにより、訪問指導などの 指導対応の件数を増やすことができた。また、訪問指導時の確認項目の見 を行っている。しかし、より経済活動が活発化したことにより、事業系ごよ が増加しているため2と考える。			
市庁舎におけるごみ排出量	:	2	3	庁舎から排出される排出物の分別徹底により高い資源化率を維持し、環境配慮への取り みをすることができた。令和4年度のごみ排出量の増加に伴い、業者と連携をして排出 の確認・監視を行い、排出抑制に努めたが、排出量は減らなかった。今年度の課題とし て、市民利用ごみ箱の家庭ごみ排出、庁内備品整理に伴う廃棄物の処理がある。			
生ごみ処理機の普及率(補助制度実績) 3				継続して行っていた啓発に加えて、電話及び窓口のみで受け付けていた事前予約に、LINEによる予約を追加し、手続きの利便性向上を図った。おおむね計画通りの環境配慮を実施できたと考える。			
外部評価							
2	_	部計画	回通りの環境配慮を実施できなかった。				
判断理由及び評価内容							

判断理由及び評価内容

- ●「市庁舎におけるごみ排出量」について
- ①実際の達成率は70.6%であるが、達成率を121%と誤った計算をしている。
- 目標値が1361.439kgに対して、実績が1929.48kgと大きく超過しており、目標不達であることは容易に判断できる
- ②評価調書の「現状値(年度)」の項目を「目標値(目標年度)」と勝手に書き換えている。
- ③西庁舎入口付近に廃棄物を長期間放置、外部からの指摘により対応。
- →外部評価:2
- ●リサイクル率、事業系ごみ排出量、生ごみ処理機の普及率(補助金制度)については、概ね計画通りの環 境配慮を実施している。
- →外部評価:3
- ●総合的には評価基準の「2一部計画通りの環境配慮を実施できなかった」に該当する。

	<u> </u>	<u> ୭. 埭境評価調</u>	<u>書(令和5年度</u>	<i>分)</i>		事業コード	1 — 2 — a		
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係		
	· 	別指標の内容	•		現状値(年度)	目標	値(目標年度)		
リサイク	ル率				31.4% (H28/2016)	40%	(R11/2029)		
ニェルズ	基本方針	1 地球に	やさしい社会	の実現に向り	 ナて取り組みます	!			
計画体系。 の位置付	+ 施束の万針		型社会を形成		165				
	/ 関連する目標指標	票 一人1日あ		重(豕廷糸(事務事業 玛	の可燃・資源)				
	主な取組	の概要	サ和り牛は	2 争伤争未 以	程度 目標値への達成見込		予算額		
コカ・コー	分別徹底の周知 -ラボトラーズジャパ ル株式会社と連携し			達成率: 90	36%	−			
			前年度事務事	「					
新たな資泡	原物の分別処理、収	集方法などの							
	有益影響		令和5年月	ま事務事業に係	る環境影響 有害影響				
・ごみの? ・ごみ処ヨ			・資源物の	の運搬・処理	にかかるエネルギーの	使用			
	想定されるコミュニケー	ーション		コミュニケーションへの対応					
・分別に	関する問い合わせ		・分別に	関する情報提	供				
			令和5年	F度事務事業	実施結果				
主な取組結	果の概要						目標值達成実績		
令和3年度	広報の特集号におり 出を促した。	ける記事掲載、	分別ガイドの	の一部修正な	どにより、市民による	適正な分別排	32. 30%		
	F. C. I/C O / C.						達成率: 81%		
令和4年度	広報の特集号におり 出を促した。	ける記事掲載、	分別ガイドの	別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排			31.90% 達成率: 80%		
	<mark>令和5年度</mark> 出を促した。事業者との協定締結を行い、。				イドの一部修正などにより、市民による適正な分別排 、水平リサイクル推進に関するPR動画を作成し、				
	Youtubeで公開をし								
市和5年度	の事務事業における変	曳点及び実施に	より発見した課題	題等					
変更点	なし								
課題等	新たな資源物の分別	別処理などの権	食 計						
			令和5年	F度事務事業	環境評価				
評価区分		:価			判断理由及びロ				
担当部課 環境評価	3:概ね計画通実施できた。	りの環境配慮	を の動きがさ あることが	らに促進され 、リサイクル	は減少しているものの、 ており、プラスチックが 率減少の一因になってい 物の混入を確認している	家庭から排出さ ると考える。	れる機会が減少傾向に		
内部環境評	3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮	を 割合は減少 けた啓発活 課題に挙げ	環境評価の内容を支持します。 少してはおりますが、新たに事業者と協定を締結し、水平リサイクル推進に向 活動を行っていることは、評価できます。 げている新たな資源物の分別処理の検討を進め、更なるリサイクルの推進に向 り組みを期待します。					

令和6年度	評価 環境管理計画	画•環境評価調	書(令和5年月	を 分)		事業コード	1 — 2 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係
		別指標の内容			現状値(年度)		標値(目標年度)
事業系ごみ					8, 336t (H28/2016)	5, 145	
ナネバしい		1 +b +±+1-	ムナーハサウ	の中田に白い	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0, 140	(NO/ 2021 /
計画体系上			型社会を形成		ナて取り組みます		
の位置付け	関連する目標指標		たりごみ排出	量(家庭系)	の可燃・資源)		
) / T /P	- lor	令和5年原	医事務事業 玛			1 ->
	主な取組	の概要			目標値への達成見込		予算額
許可業者向	耳業所への訪問指導 引けの講習会の開催 ↓処理機補助の事業	:、食品ロス削	減方策の検	達成率: 73	7, 073t		— 千円
			前任使車茲車		3 % J発見した課題等		
			<u> </u>	未の天心により	が光光しに味趣寺		
食品リサイ	クル及び、市内事	業者への生ご	み処理機貸出	間度の広報	の検討		
	有益影響		令和5年原	度事務事業に係	《る環境影響 有害影響		
ごみの漏					口口水自		
	X重化 単施設の負担軽減		-				
	想定されるコミュニケー	ーション			コミュニケーションへ	の対応	
・事業系ご	ごみに関する問い合	わせ	・処理に	関する情報提	供		
) t. m. 60.61	T 107 TC		令和5年	F度事務事業	実施結果		
主な取組結	果の概要						目標値達成実績
A 10 6 F	多量排出事業者へのよい	の訪問指導実施	亩 (5社)				8, 037 t
令和3年度 	事業者向けのパン	フレットの改訂	丁(1月)				
							達成率:64.0%
	多量排出事業者への	の訪問指導宝器	〒 (20社)				8, 331t
	事業者向けのパン						·
	2 E WULTER ** * * * * * * * * * * * * * * * * *		LI \				達成率:61.7%
	多量排出事業者への訪 事業者向けのパンフレ _ン						8, 352t
令和5年度	事業所訪問時の確認内容	容について、見直	しを行った。	左乳 - の事業の	デス 柳 3 工 数 v) の 日 古 1 よ に	(A-Fn C	0, 3521
4	年4月から段階的に引_	上 <i>げ</i>)			ごみ搬入手数料の見直しを行	つた。(市和り	達成率:61.6%
令和5年度の)事務事業における変	更点及び実施に	より発見した課	題等			
	事業者向けパンフ 事業所訪問時の確認		_				
	見直しを行った確認						
				F度事務事業	理·辛亚/亚		
評価区分	<u> </u>	· 価	丁和り工	+ 及	- 垜児計画 判断理由及び内		
担当部課環境評価	2:一部計画通 実施できなかっ	りの環境配慮	を やすことが ルスの感染技	できた。また、 な大が落ち着き	拡大が落ち着いたことにより 訪問指導時の確認項目の見直 、より経済活動が活発化した 意を実施できなかったと考え	、訪問指導などの しを行っている。 ことにより、事業	しかし、新型コロナウィ
内部環境評·	西 3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮	を 踏まえて対す きる。また、	面指導件数の増 令和5年度中 ・決定し、事業	ており、令和5年度は現状値 加や訪問時の確認方法の見直 に高座清掃施設組合と座間市 系ごみ減量化に効果が高いと	しに取り組んでい ・綾瀬市と共に	いることは一定の評価がで 事業系ごみ搬入手数料引き

会和6年度	医醉価 環境管理計劃	面。	(今和5年度	F <i>4</i> })		事業コード	1 — 2	
<u>77400 - 70</u> 担当部	財務部	担当課	財産・車両			担当係	<u></u> 管財係	
12-14P		150 mm 別指標の内容	W/A	HAL.	現状値(年度)		<u> 5 77 177</u> 票値(目標年度)
市庁全にも	 おけるごみ排出量				1512. 710kg (H30/2018)	1361, 439		1/2029)
11111 日1-8			<u> </u>			1301.433	ng (IVII	
計画体系」		1 地球にや 1-2循環型			けて取り組みます			
の位置付け		票一人1日あた			の可燃・資源)			
		<u> </u>		事務事業				
	主な取組	の概要			目標値への達成見込		予算	.額
・市庁舎こ回	ごみゼロ研修の開催	全 (新採用職員向	可け) 年1		1594. 031kg		0	千円
・張り紙等	等による分別に対す	る意識改革		達成率:85.4	40/			
		7	前任使事務事		* /º り発見した課題等			
1	とこっよしかがましょし					±₩ - 	z wa Ukur E	1 ~ 124 + 1
	イルス対策緩和によ れため、ごみの排出		. 検討を進	める必要が	9	識个足による	うこみ排出量	(の増加
	V D. 687		令和5年度	(事務事業に係				
	有益影響				有害影響			
ごみの源			_					
こみ処理	里施設の負担軽減							
	想定されるコミュニケー	ーション			コミュニケーションへの	D対応		
・集積場所	所の環境状況への苦	;情	・定期的な	よ収集及び美	化清掃			
				度事務事業	実施結果			
主な取組結:	果の概要		1.140	ステルテホ	スルロギロス		目標値達	成実績
	運営に努めました。)]り、環境に配慮した持線]実施(新採用研修科目と		1469. 9	94kg
	・庁内から排出され した(資源化率98.	れるごみについ 3%)。	ては、引き約	売き分別を徿	対底し、可能な限りの資源	原化を図りま	達成率:	92.6%
	運営に努めました。 ・市庁舎ごみゼロ&	, 研修の開催(新	採用職員向!	ナ) を年1回]り、環境に配慮した持約]実施(新採用研修科目と	こして)	1585. 39kg	
	した(資源化率97.	7%)			対底し、可能な限りの資源 にきく増加し、早急な実態			
	・市庁舎ごみゼロ研修の ・不適切なゴミ出し及び	開催(新採用職員向け 家庭ごみ発見時の確認)を年1回実施 ・指導	(新採用研修科			1929.	48kg
	本年度は、委託業者と連打	隽し、庁内で出るごみ	の監視を行いま	したが、4月・	資源化を図りました(資源化率97 5月・6月の焼却ごみ排出量が著 1年を通し、市民による廃棄物の	しく増加してし	達成率:	70.6%
令和5年度の	の事務事業における変	更点及び実施によ	り発見した課題	夏等				
変更点	委託業者と連携し、	. 庁内ごみの出	し方等に問題	夏があった場	号合は排出状況の確認や排		0	
課題等	貼り紙はしているが、	、見やすくする等	の工夫が必要 いては、分別	である。 Jの徹底を行い	至ごみと思われる廃棄物の排 、、再資源化に努める。	‡出が見られた	-0	
== (平 (元 八	===	7. /DE	令和5年	度事務事業		to		
評価区分 担当部課 環境評価	2:一部計画通 実施できなかっ		組みをする 出物の確認 今年度の課	ことができた ・監視を行い	判断理由及び内: 物の分別徹底により高い資 。令和4年度のごみ排出量 、排出抑制に努めたが、排 民利用ごみ箱の家庭ごみ排	源化率を維持 :の増加に伴い :出量は減らな	、業者と連携かった。	らをして排 しまれる かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい
内部環境評	価 3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮を	徹底により す。ごみ排	、高い資源化 出量削減は、 周知徹底や新	出量が増加傾向にあるもの 率を維持できているため、 一人ひとりの心がけが大切 たな取り組みを広げていく	取り組みの成であると考え	果について評 るため、引き	呼価しま 続き、庁

令和6年度	評価 環境管理計画	*環境評価調書	(令和5年月	<i>分)</i>		事業コード	1 — 2 —	d	
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	Į.		担当係	廃棄物政策係		
	個別	指標の内容	-I		現状値(年度)	目標	[値(目標年度)		
生ごみ処理	型機設置費補助制度 <i>0</i>	D普及率(補助	制度実績)		8.9% (H28/2016)	10%	展棄物政策係 目標値(目標年度) 10% (R11/2029 予算額 9,094 ヨ 11.9% (処理機累計基数 下ででは、11.9% (処理機累計基数) 達成率:119% 9.16%		
	基本方針			の実用に向け	ナて取り組みます	1	,		
計画体系上	佐竿の士針	1-2循環型			ノており加してより				
の位置付け	関連する目標指標		りごみ排出	量(家庭系の					
	2 to TE / II o	. Lorr ===	令和5年	度事務事業 玛			7 Mr. dus		
	主な取組の)概要			目標値への達成見込)		
					10%				
生ごみ処理	里機設置費補助制度、	事業者向け貸	出制度	日制度 9,094					
				達成率: 10	00 %				
		前	前年度事務事	業の実施により	発見した課題等				
			令和5年月	まま ひょうしゅ ままま とり	る環境影響				
	有益影響				有害影響				
ごみの洞			\C.P\	5番白の砂井					
・ごみ処理	単施設の負担軽減		・近隣へ(の悪臭の発生					
	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへ	の対応			
・処理機の	の使用に伴う苦情		・適切な	吏用方法の伝	達				
			→ 会和55	F度事務事業 	宇施結里				
主な取組結り	果の概要		1110-	下汉子勿子不	大池和木		目標値達成実統	責	
令和3年度	広報や自治会回覧の	ほか、駅前の三	三井住友銀	行展示スペー	スでの展示を行った。				
	また、YouTube動画に	2て生こみ処理	機の啓発を行つた。						
J	広報や自治会回覧の	ほか. 駅前の =	- 井住友銀		スでの展示を行った。			-0	
令和4年度	新型コロナウイルス	感染拡大でブー	-ス出展等	ができてなか	ったコミセン祭りに参	加啓発を行っ	(処理機累計基	数/	
7	た。	W - Iber ree	1 2 1 . 22	,					
3	非電動式生ごみ処理	機の補助上限を	と引き上げ:	<u>ح</u>			<u>%</u>		
	广起 め自沿今同覧の	ほか 即前の目	二十七十五年	行展 示 スペー	スでの展示を行った。			迷/	
令和5年度	a報、日祖芸園覧の 補助金のLINE事前予:	めを開始	-开江久邺	1成小八、	ハくの放外を行うた。				
	1111.74 === 1 111.1	14 2 1/11/12							
令和5年度 <i>0</i>	D事務事業における変更	「点及び実施により	/発見した課	題等					
変更点	LINEの事前予約を開	始							
火火流 1	DITTE マンチ 同(1 か)で [別.	Д Н							
-m ez ++	上声乳 上川 ジャ / ロー四	W 0 * 7 / 17 / 17							
課題等	非電動式生ごみ処理	機の普及促進							
			令和5年	F度事務事業	環境評価				
評価区分	評価	Ti			判断理由及び内	容			
担当部課環境評価	3: 概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	約に、LIN	して行っていた啓発に加えて、電話及び窓口のみで受け付けていた事前予 LINEによる予約を追加し、手続きの利便性向上を図った。おおむね計画 D環境配慮を実施できたと考える。					
内部環境評(あ 3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	当部課評价	西を支持しま	こ加え、新たな予約方法 す。 なる増加に期待します。		: いることから、:	担	

【人和人在东河下】口塘长塘明 末末光喷炉2.	此识。 1 /人和日左连八\
【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和5年度分) I
目標指標 (目標値(年度))	令和5年度実績
一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源) (650g(令和9年度))	510g
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
○生ごみ処理機設置費補助金活用の申込が多数寄せ 非電動式19件)	られている。(電動式214件、
〇より多くの方に補助金を周知できるよう、自由通 や、三井住友銀行のショーウインドーでの生ごみ処	
 ○事前予約方法にLINE予約を追加 	

	【令和6年度評価】	外部	評価シ	ート(令和5年度分)		
基本	方針		施策の方針			
1 地球にやさし 向けて取り	ル社会の実現に 組みます			3 緑・水・生きものと共生します		
目標	 指標					
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和5年度実績		
生き物とのふれあいに対する意記 きものとのふれあいについて良し合)				アンケート実施なし		
48.2% (平成30年度)	5 0. 0 % (令和 1 1 年度	Ę)	アンケート実施なし			
個別指標	6 A	担当部課	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント		
自然緑地保全区域面積・樹	木数	2	2	上記課題等のとおり、年々指定解除の相談が増えており、 今年度についても保全区域・保存樹木ともに指定解除をし たため。		
緑化に関する情報の発信回	数	3	3	「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央 公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信すること ができた。また、「さつき展」についても、市役所に来庁される 方々に広く周知することができた。		
生物多様性に関する情報の	発信回数	3	3	えびな生き物大調査について、エントランスホールへの展示や調査報告書を通じて、海老名市の生物多様性を広く啓発できたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。		
		外	部評価			
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。		
	坐川		及び証	—————————————————————————————————————		

各指標の達成度は、内部評価通りであり内部評価結果を支持します。

ただし、今後の課題として、令和11年度の目標を達成するために、単年度目標をしっかり立て、その達成率 をみていく形にするとよいです。今のままでは、単年度目標が明確になっておらず、単年度の是正が行いに くくなっています。

<u> 令和6年度</u>	評価 環境管理計画	•環境評価調	<u> </u>	(分)		事業コード	1 — 3 — 6
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公	園課		担当係	総務係
	個別	指標の内容			現状値(年度)		[値(目標年度)
———— 白然緑地伢	· 民全区域面積 · 樹木数				150626. 16㎡/193本	150000.00	
			5+1 D4A	の実現に白い	(R1/2019) ナて取り組みます	/193本	(1111) 2020
計画体系上			・生きもの。				
の位置付け	関連する目標指標				: 地域の生きものとのふれあいに	ついて良い、やや	良いと回答した人の割合)
					境管理計画		
	主な取組の)概要			目標値への達成見込		予算額
	€を有する緑の保全の 最地保存樹木を指定し				140, 000. 00 ㎡/168本		6,888 千
					3.3 %		
					発見した課題等		
	「者や樹木自体が高齢 対木が指定されている		の指定が困難	である。	誰になり、枯死・滅失が	増加している	5。また、ほとんと
	L 1/ D 1497		令和5年原	ま事務事業に係 かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい			
	有益影響				有害影響		
森林資源温室効果	₹の保護 ₹ガス吸収作用の保⊴	è創造		日照時間の減 ひゴミの増加			
	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへの	D対応	
	っの落葉による苦情 9定伐採したことに。	よる景観上の [:]	苦・生活環境	意と景観に配	慮した管理方法の周知		
			令和5年	F度事務事業	実施結果		
主な取組結り							目標値達成実績 143,776.36/150,0
	自然緑地保全区域等						0
	自然緑地保全区域自然緑地保存樹木		5, 284, 735円 682, 000円				175/193本
	・保存生垣	30件	198, 600円				達成率:95%
							建成学:9 5 % 140,529.36/150,(
	自然緑地保全区域等 ・自然緑地保全区域		「る交付実績 5, 286, 340円				0
	· 自然綠地保存樹木		5, 280, 340 674, 000円				172/193本
	•保存生垣	25件	173, 600円				達成率:93%
	方 妹妇ll./口 人 豆l.//	ポーナー・ション・サーナー	フカリウ体				136, 329. 36/150, 0
	自然緑地保全区域等 ・自然緑地保全区域		る父行美領 5, 253, 730円				0
	・自然緑地保存樹木		654,000円				165/193本
	・保存生垣	15件	87,000円				達成率:90%
令和5年度の	D事務事業における変更	「点及び実施に。	より発見した課題	題等			
変更点	なし						
1	マはめ掛大の記ちさ	アトス祭畑ポ	直齢ルに他に		 ってきており、相続や昇	与丰田か ビルート	スセ学紹介の担勢。
	増加している。	による官理が				で対なるによ	の有足門がり作談が
== ! :		-	令和5年	F度事務事業	環境評価		
評価区分	評价	h			判断理由及び内	谷	
担当部課 環境評価	2:一部計画通り 実施できなかった				年々指定解除の相談が増 に指定解除をしたため。	曽えており、	今年度についても色
内部環境評价	2:一部計画通り 実施できなかった	の環境配慮る	ヹ 目標達成◎	軽の低下はや	容を支持します。 むを得ない状況も理解で お願いします。	ごきますので、	、目標値の設定や作

令和6年度許	平価 環境管理計画	環境評価調	(令和5年月	<i>重分)</i>		事業コード	1 — 3	— b		
旦当部	まちづくり部	担当課	都市施設公	遠課		担当係	総務係			
	個別	指標の内容			現状値(年度)	目標	値(目標年度)		
碌化に関する	る情報の発信回数				2回 (R1/2019)	3回	(R1	1/2029)		
	基本方針	1 地球にも	っさしい社会	*の実現に向い	ナて取り組みます					
計画体系上 の位置付け	施策の方針	1-3緑・水	生きもの	と共生します						
の位直切り	関連する目標指標	生き物とのふれあ			地域の生きものとのふれあい	について良い、やや」	良いと回答した。	人の割合)		
	主な取組の	抽曲	令和5年	度事務事業 □ 環	境管理計画 目標値への達成見込		予算	r 夕舌		
	土は収租の	【似安			日保恒への建成兄込		」/ 与	上供		
录化ポスター 青報を広報等	ーコンクールやさ <i>っ</i> 等に掲載	のき展等の事業	業に関する		3		0	千円		
				達成率:1009						
			前年度事務事	業の実施により	発見した課題等					
			会和5年1	ま事務事業に係	ム晋培影郷					
	有益影響		1141041	文学初学术にか	有害影響					
ロナカ 人	女出土フ立物のピ	- [
がな保生	・育成する意識の向	1)上	-							
想	!定されるコミュニケ ー :	ション		コミュニケーションへの対応						
47 W YLO		•	適切な約	緑化手法の周	知					
・緑化手法(こ関する問い合わせ	<u>-</u>		係る補助制度						
			令和5年	年度事務事業	実施結果					
を取組結果	の概要						目標値達	[成実績		
命和3年度 広	学生の夏休みの宿 報で情報発信する お、「花と緑の写	とともに、そ	の他、HP	にて緑化に係	3					
14	る、「16 C 豚の子:	<u> </u>			一世 しながりた。		達成率:	100 %		
命和4年度 広	報で情報発信する	とともに、表	彰式を海老	名中央公園に	ンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを中央公園にて行った。					
6		140 +23-710	07100 11 (6	5月30日、31日に開催することができた。						
命和5年度 広	報で情報発信する	とともに、表	彰式を海老	名中央公園に		か紹介などを	3			
ま	た、「さつき展」	についても5	月22日~25	日まで市役所	1階にて開催された。		達成率:	100 %		
҈1和5年度の	事務事業における変更	点及び実施に。	にり発見した課	題等						
変更点な	l									
課題等な	L									
			令和5年	年度事務事業	環境評価					
評価区分	評価	ī			判断理由及び	内容				
旦当部課 環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	を行うこ。	とで多くの人	ール」を実施すること へ緑化について発信す 所に来庁される方々に	ることができ;	た。また、	「さつき		
内部環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を			容を支持します。児童 より、地球にやさしい					

	平価 環境管理計画	•環境評価調	<u>書(令和5年</u> 周	分)		事業コード	1 — 3 — c			
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	環境共生係			
	個別	指標の内容			現状値(年度)	目標	値(目標年度)			
生物多様性	に関する情報の発信	言回数			担当係 環境共生係 現状値(年度) 目標値(目標年度) 3回 (R1/2019) 6回 (R11/202) に向けて取り組みますします。 ます ケート:地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合業環境管理計画 予算額 目標値への達成見込 予算額 はこより発見した課題等 者が生物多様性の重要性を学ぶ良い機会になった。					
ニーリエ・	基本方針	1 地球に	やさしい社会	の実現に向い	 ナて取り組みます					
計画体系上 の位置付け	施策の方針	1-3緑・水	く生きもの。	ヒ共生します						
27 区 [11.7	関連する目標指標	生き物とのふれる				ついて良い、やや月	良いと回答した人の割合)			
	主な取組の)概要	令和5年月	支事務事業 均 	・現官理計画 日標値への達成見込		予算類			
	<u> </u>	1/1/12					7 77 115			
ホームペ	ージによる情報の多	発信			4		_ 千i			
窓口での	チラシの配架			>-t t>-t						
			*	達成率:						
		I may be a					, ,			
	心とした∣いきもの 減少が見られたため				生物多様性の重要性を学	ぶ艮い機会に	こなった。			
が加入数の	成少が兄り4Uにたり	9, e949.			フェニュロン組成					
	 有益影響		市和5年月	支事務事表1〜17						
					13 14 49 1					
生物多様	性を保全する意識の	の向上	_							
木	見定されるコミュニケ ー	ション			コミュニケーションへの)対応				
<u> </u>	322100-1-7	<i></i>			<u> </u>	7 / J / L L				
生物多様	性の保全手法に関す	する問い合わ	せ・適切な生	生物多様性の	保全手法の周知					
				c 库 市 玖 市 ツ	字族結果					
な取組結果	の概要		サ和り上	F 及 争 份 争 未	天旭和朱		目標値達成実績			
	特定外来生物(ヒ	、 ームページ								
	で実施しました。									
ì和3年度 ・					1名の参加がありました。		4 回			
<u> </u>	調宜福米をエント ジ等で公開したほか				査報告書に取りまとめ、 た。	ルームベー	達成率:66.6%			
					<u>・-。</u> ギク)に関する周知をオ	ニームページ	是/			
	き実施しました。	, , , ,	, – , , , ,	グラー・ススイングイイン) (C) 民 する円 畑でか お、 ン						
計和4年度 ・					5名の参加がありました。		4 回			
3	調査結果をエント ジ等で公開したほか				本					
		·			·	- 1 ° 22	達成率:66.6%			
	特定外米生物(E 変にました。	アリ・セアス	/コケクモ・>	オオキンケイ	ギク) に関する周知をオ	ベームヘーシ				
		大調査」を実	尾施し、小学生	生を中心に94	名の参加がありました。		4 回			
			/に展示する。	とともに、調	査報告書に取りまとめ、	ホームペー				
	^シ 等で公開しました 事務事業における変 更		L1130 F1 4 - F1	35.65			達成率:66.6%			
和5年度の	事份争未にのける変更	は以び天地に	より光兄しに味	退守						
変更点な	:L									
課題等	びな生き物大調査	への参加者を	さらに増や	していくため	の手法について研究を進	 もめます。				
			A 7 1	- - = 7- = **						
証無反公	= □ □	<u> </u>	→ 令和5年	F度事務事業		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
評価区分	評価	Щ			判断理由及び内容	Ť				
旦当部課	3: 概ね計画通り	の環境配慮を			ついて、エントランスオ					
ュュ の R 環境評価	実施できた。	イントジョロロルは、(しく、7世7		多様性を広く啓発できた まま	ため、概ね	計画通りの環境配慮			
			を美胞じる	きたと判断し	よ 9 。					
				価の内容を支		要性を市民に				
内部環境評価	3:概ね計画通り	の環境配慮を	と その啓発事	業が不可欠で	す。そのために、チラシの	配布、市ホー	ムページを活用した周			
THE PROPERTY OF	実施できた。				えびな生き物大調査」を実 工夫した啓発事業を期待し		評価できます。今後も			
			, v -h y (c	ふりないより	エハレに何元尹禾で朔付し	о 7 о				

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和5年度分)
目標指標 (目標値(年度))	令和5年度実績
50.0%(令和11年度))	アンケート実施なし
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください 	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量) 囲で具体的に記入してください。	性的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
〇「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中 査結果をエントランスホールに展示するとともに、 ページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに	調査報告書に取りまとめ、ホーム
〇市民が市内生物たちと楽しく安全に触れ合えるよ 頃から気を配り、触れ合いやすい環境づくりに取り	

	【令和6年度評価】	外部	評価シ	·一ト(令和5年度分)		
基本	方針		施策の方針			
2 健やかに暮らせる安全		保しま	1 水環境を守ります			
目標:	 指標					
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和5年度実績 		
河川水質環境基準達成状況				BB BT 4. 1		
問題なし (平成30年度)	問題なし (令和11年度	€)	問題なし			
個別指標	世 個別指標 部 部			目標指標進捗に関する所管課コメント		
水洗化率		3	3	数値としての伸びは無かったが、令和5年度変更点である 未水洗化家屋への通知を行ったことで、下水道接続に至っ た例もあり、目標達成に向かっていると判断した。		
公共下水道の普及率		3	3	市役所周辺地区の下水道布設に係る説明会を 行った。計画的に整備を進めている。		
水循環に関する情報の発信	回数	3	3	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌 での情報発信を実施できたため、概ね計画どおりの環 境配慮が実施できたと評価します。		
		外	部評価			
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。		
		新理中	及7、「証	価内 窓		

活動状況から、一生懸命取り組んでいる状況がよくわかります。3と評価します。

- さらに今後の活動として下記取り組んでいただきたい。
- 2-1-a、最新の状況把握のため是非改めてアンケートとってください。必ず必要な情報が得られます。 全地域の確認作業が大変なことわかります。是非、地区を区切って確認できた所から順次発送して、全地域 に通知してください。
- 2-1-b、説明会で出た要望・意見で対応できるものは、是非対応してください。説明会はコミュニケーションとして大変重要です。今後もできるだけ開催して市民との対話を促進してください。
- 2-1-c、個別指標は、中間見直しで検討してください。周知方法の検討で、SNS等活用した周知方法などは是非検討して実現してください。

令和6年度許	平価 環境管理計画	<u>可·環境評価調</u>	(令和5年周	分)	事業コード	2 — 1 — a
旦当部	まちづくり部		下水道課		担当係	業務係
	個			現状値(年度)		
k 洗化率	-					(R11/2029)
1, \(\(\(\(\) \)	T #1 A	10 /24 15 / . /	- 古 > フ c		100/0	(1(11/ 2023 /
計画体系上		2 (健やか)	こ春らせる女	È『安心な環境を催保します		
の位置付け						
	一月圧りる口信用信	[四川小貝垛				
	個別指標の内容 現状値(年度 98.2% (H30/2) 1		目標値への達成見込		予算額	
Note to 10 % 10 %	* / . ~ \					
		±0.4H-		98.4%(0.2%増)		】 3,492 千円
		和近天				3,492
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	水压、 V/匝加	担当課 下水道課 日当課 下水道課 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日				
			前年度事務事	の実施により発見した課題等		•
±. N. + . / L. ×	# // - 	±77 > L#+ , 1% ,	D-66 1 2		\= 1. -	
	先化率)が98%を	超ス、横はい	犬態となって	へる。下水迫事業のPRの見直しを検	(討する。	
			令和5年月	事務事業に係る環境影響		
	有益影響		15 175			
· 水质但今						
	の改善		・水洗化	事による廃棄物の増加		
	, .				0 t 1 t t	
	定されるコミュニケー	ーション		コミュニケーションへ	の対応	
水洗化壬	まき <i>に</i> 関する問い	会わせ				
71/1/L L-7-1/L	近のに関する回び、	П 47 С	・水洗化は	係る補助制度の情報提供		
			令和5年	度事務事業 実施結果		
主な取組結果	の概要					目標值達成実績
0	水洗便所改造等即	加成金の交付				
		_ , ,				0.0.00/
令和3年度		00円(一人あ)	こり30,000円			98.3%
		>=1 -/-:				
						達成家 · 08 3%
						建 成平 . 30, 3 /0
		7/X.W. ~ X [1]				
		00円 (一人あ)	こり30,000円			00.4
令和4年度						90.4
						法比索,00,40/
	・助放条内を対象	以有个				達 成学:98.4%
		カ成金の交付				
			t. 10.00 000 H			
会和5年度 ○		00円(一人あ)	こり30,000円			98. 4
で加い土度)配布				
	・ホームページへ	\掲載				
						→ 達成家・08 4%
会和5年度の3	事務事業における 変	再占及び宝施に	上り発見した理	5等		建 灰平 . 30. 4 /0
17年0十月07-	子初于木1200170支	文派及び入池に	, / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	<u> </u>		
変更点 地	区ごとに下水接続	売可能にも関わ	らず未水洗の	家屋をリストアップし、水洗化の:	お願いについ	て通知を行った。
理 類 生	成率(水洗化率)だ	ぶ98%を超え、村	黄ばい状態とな	っている。		
叶唇寸 月	ストアップについて	ては件数が多く、	全ての地域に	通知を送ることが出来ていないため、 〕	R6年度も継続	して通知を行う。
			令和5年	度事務事業 環境評価		
評価区分	評	価]容	
			业(/+) 、	o. (h-10), 1. (m.)	*******	+ 1.14 11
担当部課	3:概ね計画通	りの環境配慮る				
環境評価			和を11つ/	ことで、下小坦接続に至つた例も	めり、日標達	双に回かつ(いると
			刊例した。			
			Les vis 7 · · · · ·	Interior free 3. Latte 3. 3. 3.		
ch do rm to ex /m	3:概ね計画诵	りの環境配慮を			エコンギャギュ	アヤル・コーン・コーン
內部埬項評価			別さ舵さ「		「水退の普及	に劣めていたたさた
			【 ∧ . ⊂ 坚 ∧ , ş	7 0		

	<u>評価 環境管理計</u>	<u> </u>	書(令和5年度	<i>(分)</i>		事業コード	2 — 1	<u> </u>	
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課			担当係	管路施設係		
		別指標の内容			現状値(年度)	目標	[値(目標年度)	
公共下水道	直の普及率				95.9% (H30/2018)	100%	(R1 1	1/2029	
シェルズリ	基本方針	2 健やか	に暮らせる安	全・安心なり	 環境を確保します				
計画体系よの位置付け	. 他束の万針		境を守ります						
07位置[117]	関連する目標指標	票 河川水質環:							
	主な取組	の概要	令和5年月	ま事務事業 環	<mark>環境管理計画</mark> 目標値への達成見込		予算	三	
					古你但"07年/人儿上		1 31	цд	
	[事予定箇所の周辺	1住人への事前	説明会の実		96.4%(0.5%増)		077 005	·	
施 • 迅速かて	[事の実施						377, 095	5 千F	
たた。よっ	- 事 • / 天 / 旭			達成率:96.4					
			前年度事務事	業の実施により	見発見した課題等				
下水道整備	情についての住民理	解のため、丁	寧な説明、更	[なる下水道F	YRが必要である。				
			〒和5年月	ま事務事業に係	る塚児影響 有害影響				
・水質保全									
- 水質 ボュ ・ 生活 環 境			・下水道	E事による廃	棄物の増加				
	想定されるコミュニケー	ーション		コミュニケーションへの対応					
	12.7CC110U-1-	7	コキャー	 L事の実施					
・下水道コ	[事に関する苦情			L妻の夫旭 学の丁寧な説	明				
上な取組結り	果の概要		可和り工	F度事務事業	実施結果		■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	成実績	
(①取組実績								
	・市街化区域の公司							96. 2%	
	・市街化調整区域の・公共下水道汚水材							06 20/	
	- 五 <u>共 </u>	州队 直り中 し口	コに巫 ノイ、 F	X 但 上 尹			建风平,	90. 2 /0	
△和 / 左 座	· 市街化調整区域(96.	4%	
	• 公共下水道汚水村					\t.\\\ \t		0/	
	· 公共下水道汚水 ^行	曾渠整備を実施	重するための記	洋細設計委託			達成率:96.4%		
	○取組実績 ・市街化調整区域 <i>』</i>	ひび市役所周辺	7地区への公	出下水道汚水	管連の埋設工事		96.	5%	
	·公共下水道汚水				日米少生以工事			5,0	
	·公共下水道汚水管	管渠整備を実施	直するための	详細設計委託			達成率:	96.5%	
↑和5年度 <i>0</i>)事務事業における変	更点及び実施に	より発見した課題	題等					
変更点	なし								
	達成率(普及率) 7					出ナルコマ			
#11.C	市役所周辺地区を	まじめ、公共「			の計画的かつ迅速な整	:備を進める。			
57/T (T) (A)		: /	令和5年	F度事務事業		5 db			
評価区分	<u> </u>	価			判断理由及び内	N谷			
旦当部課 環境評価	3: 概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮を	を 市役所周泊	辺地区の下水	道布設に係る説明会を	行った。計画	的に整備を達	進めてい	
内部環境評価	西 3: 概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮を			持します。 説明をしながら、公共	下水道の普及	に努めていた	- ただきた	

<u> </u>	度評価 環境管理計	画•環境評価調	書(令和5年度	<i>「分)</i>		事業コード	2 — 1 —
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	環境共生係
	但	別指標の内容			現状値(年度)	目標	
水循環に	 関する情報の発信回	1] 类/r			1回(R1/2019)	3回	(R11/2029
// // // // // // // // // // // // //			に 草 と ロ フ ウ				(1(11/ 2020
計画体系			に春らせる女 きを守ります	主・女心なり	環境を確保します		
の位置付け	け 関連する目標指			況			
	内足 / 亚山 川	* 1711115			遺管理計画		
	主な取組	lの概要			目標値への達成見込		予算額
河川の水気 発信	質調査結果について	て、広報えびな	等にて情報	達成率: 50	2回		1,669 千
			前年度事務事		<u> </u>		
	環境のさらなる周矢 倹討に努めていきま				質調査結果の発信にあ	たり、市民によ	こり分かりやすい記
	+ 1 日/ 細		令和5年原	ま事務事業に係			
	有益影響				有害影響		
・水環境の	の保全意識の向上		_				
	想定されるコミュニケ	ーション			コミュニケーション^	の対応	
・水環境の	の保全手法に関する	う問い合わせ	・適切な2	水環境の保全	手法の周知		
			令和5年	F度事務事業	実施結果		
主な取組結		Enlated S.	, >= III	- 1 55 38 -1-41	m ; [m 46] ;	1	目標値達成実績
令和3年度	市内の水質状況の	周知を図りまし	ンた。		果を掲載することで、 河川水質状況を掲載し		2回 達成率:50%
令和4年度	・環境調査結果と 市内の水質状況の ・「高座地区河川	周知を図りまし	」た。		果を掲載することで、 河川水質状況を掲載し		2回
	した。	1 ア「庁却らて	ドナン・ ファ 河ゴロロ	りを配置を生	 果を掲載することで、	古尺に対して	達成率:50%
令和5年度	市内の水質状況の	周知を図りまし	ンた。		末を拘載することで、 河川水質状況を掲載し		2回
	した。						達成率:50%
令和5年度	の事務事業における変	更点及び実施に	より発見した課題	<u> </u>			
変更点	なし						
課題等	広報えびな及び高	座地区河川をき	きれいにする		での周知方法の検討。		
			令和5年	F度事務事業	環境評価		
評価区分	ii (P価			判断理由及び	内容	
担当部課 環境評価	3:概ね計画通実施できた。	りの環境配慮			区河川をきれいにする りの環境配慮が実施で	,	
内部環境評	3:概ね計画選 実施できた。	りの環境配慮	を の水質状況 な」で調査 す。また、	を調査しその 結果を報告す 関係団体の会	時します。水環境の保全 結果を公表することが重 るとともに市内の水質状 報で周知を図っているこ いただくことを要望しま	要と考えます。 況の周知を図っ とも評価できま	そのために「広報え ていることは有用で

日標指標 (目標値(年度)) 河川水質環境基準達成状況 (問題なし(令和11年度)) 〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗にたと考える取組みについて以下に記入してください。 〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可囲で具体的に記入してください。 〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価(海老名環境マネジメステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。	能な範ントシ
(問題なし(令和11年度)) ○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗にたと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価(海老名環境マネジメステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。 ○河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしまうため、河川事故があった	能な範ントシ
たと考える取組みについて以下に記入してください。 〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可囲で具体的に記入してください。 〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価(海老名環境マネジメステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。 〇河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしまうため、河川事故があった	能な範ントシ
田で具体的に記入してください。 〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価(海老名環境マネジメステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。 〇河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしまうため、河川事故があった	ントシ
ステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。 〇河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしまうため、河川事故があった	
	際は迅
をかつ正確に対応をしている。特に油が河川に流入し油膜が流れている時は、 フェンスを設置することで下流への影響を抑え、塞き止めた油はオイルマット C吸着作業をしている。	
O現場へ行き河川の近くを通る際は、河川の臭気や水が濁っていないかを確認 常時にも対応できるよう日々心掛けて業務に専念している。また、現場確認し はリストで管理し、チェックできるようにしている。	

【令和6年度評価】外部評価シート(令和5年度分)									
基本	方針			施策の方針					
2 健やかに暮らせる安全 安心な環境を確保しま す				2 生活環境を守ります					
目標:	 指標								
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和5年度実績					
公害・環境に関	する相談件数			E 0 /4					
6 4 件 (平成 3 O 年度)	5 O 件 (令和 1 1 年度	Ē)	5 8 件						
個別指標	担当 個別指標 部課 評価			目標指標進捗に関する所管課コメント					
大気質環境基準達成状況		3	3	市内21箇所で窒素酸化物簡易測定調査を行いました。 また、大気汚染(屋外焼却行為)等に対する苦情相談を受け、迅速な対応及び状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。					
コミュニティバス利用者数		3	3	計画通りに取組を進めることができた。また、行動変容に伴い、輸送人員が回復傾向にあり目標値を達成できた。					
騒音に関する相談件数	騒音に関する相談件数 3			騒音苦情を受け迅速に現場対応を行い、苦情者の不安要素 解消のために日々職務に邁進したため、概ね計画通りの環 境配慮を実施できたと評価します。					
		外	部評価						
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。					

- 大気質の環境基準値の達成状況の調査は、継続して実施してください。
- ・コミュニティバスの他に新たに、新たに高齢者向けのYouBusの実証運行を行うなど「健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します」に向けた活動を積極的に行っています。
- 騒音に関するする苦情処理は、地味な活動ですが着実に行っています。

<u> 令和6年度</u>	医醉価 環境管理計	画·環境評価調	書(令和5年月	E分)		事業コード	2 — 2 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	Į		担当係	環境共生係
	· 但	別指標の内容			現状値(年度)	目相	票値(目標年度)
大気質環境	竟基準達成状況				達成(H30/2018)	達成	(R11/2029)
シェルズリ	基本方針	2 健やか	に暮らせる安	 全・安心なst	 環境を確保します		
計画体系」の位置付け	+ 地東の万針	2-2生活现	環境を守ります	f			
の位置的	/ 関連する目標指	標 公害・環境					
	主な取組	の脚帯	令和5年	度事務事業 環	<mark>遠境管理計画</mark> 目標値への達成見辺		予算額
	土の状態	107100安			口信心への足以元と	<u>`</u>	广开识
市内21箇月	所で実施している窒	E素酸化物簡易	測定調査		基準値達成		1,081 千F
				達成率:	- %		
			前年度事務事	業の実施により	発見した課題等		
	5為(野焼き)に係 なてていきます。	系る苦情・相談	が多く寄せら	れました。タ	気象条件や風向き等、	発生時のデータ	タを記録し、今後の
			令和5年月	度事務事業に係			
	有益影響				有害影響	B	
・生活環境	音の母々						
工伯界學	元ック本土						
	想定されるコミュニケ	一ション			コミュニケ ー ション	への対応	
			・迅速な理				
・空気汚染	たに関する公害苦情	Ē		準等の丁寧な	説明		
				丰度事務事業	実施結果		
主な取組結:	果の概要		1.14	127377	JC#67K		目標値達成実績
令和3年度	・光化学スモッグ	燃焼行為等)に 実施しました の発生に備えて	こよる悪臭等 (発生件数27f	の苦情・相談 件)。	に対し、原		基準値達成
	した(発生件数		WT /\ [r=	and			達成率: - %
令和4年度	・光化学スモッグ	燃焼行為等)に 実施しました の発生に備えて	こよる悪臭等 (発生件数334	の苦情・相談 件)。	に対し、原		基準値達成
	した(発生件数		レンスをおりむ	田木ナない、エ	1 2		達成率: - %
令和5年度		燃焼行為等)ん 実施しました	こよる悪臭等 (発生件数284	の苦情・相談 件)。	に対し、原		基準値達成
	・光化字スモックした(発生件数		て、発生時の位	発生時の情報伝達訓練を実施しま			達成率: - %
 令和5年度の	の事務事業における変		より発見した課	題等			上进八十, /0
				-			
222	なし 						
	県の条例で例外的 い。	に認められてレ	、 る屋外焼却	行為に対して	も苦情が一定数あり	、苦情者に理解	を得ることが難し
			令和5年	丰度事務事業	環境評価		
評価区分	Ē	平価			判断理由及び		
担当部課 環境評価	3:概ね計画通実施できた。	iりの環境配慮	をまた、大気	気汚染(屋外 じた指導を行	物簡易測定調査を行り 焼却行為)等に対する ったため、概ね計画	る苦情相談を受	
内部環境評価 3: 概ね計画通りの環境配慮を 実施できた。 担当部課 る調査・ い、環境 重要なこ			析を行うこと 染に係る原因 で環境配慮を	持します。 大気質環境 が必要です。そこで、「 を発生させているものし 実施できたものと考え? 為については、適切な!	市内21箇所で窒素 こ対して、指導を ます。今後も引き	酸化物簡易調査を行 行っていることは大変 続き調査分析を継続す	

<u> </u>	評価 環境管理計画	ī <i>•環境評価調</i>	<i>書(令和5年</i> 度	分)			事業コード	2 — 2 — b
担当部	まちづくり部	担当課	都市計画課				担当係	交通政策係
	個5	別指標の内容			現状値	(年度)	目標	[値(目標年度)
コミュニテ	-ィバス利用者数				257, 237人((H30/2018)	259, 150.	人 (R11/2029:
シェルズリ	基本方針	2 健やか	に暮らせる安	全・安心な	<u>Ⅰ</u> 環境を確保し	ます		
計画体系上の位置付け	施策の方針	2-2生活環	環境を守ります	f		- •		
	関連する目標指標	公害・環境	に関する相談	件数 隻事務事業 ³	要接供用补雨			
	主な取組の	D概要	で作り生活	支	및児官理計画 目標値への	D達成見込		予算額
	/一トのコミュニテ 市ホームページや	ィバスの運行		達成率: 9	254, 4 8. 2%			53, 925 千F
			前年度事務事		ノ発見した課題:	 等		
行動変容に	こ伴う輸送人員の変	(Ľ						
	左 光早<總		令和5年月	隻事務事業に 係	系る環境影響	左 宝影鄉		
4814	有益影響	w III. (-) 10 .	le. III - s	W		有害影響		
制	いらの利用転換によ		抑 ・排気ガン・ガソリン					
	想定されるコミュニケー - ティバスの運行状:		1 \		コミュニ	ケーションへの	の対応	
・コミュー 合わせ ・苦情	- 7 イハムの連11仏	沈に関する国		重行状況の訪	·明			
> 4. 7. 40.44			令和5年	F度事務事業	実施結果			
<u>主な取組結り</u> 【	果の概要 - 温室効果ガスの削	減を日標に	コミューテ	ィバスの利田	促進に繋が	ス情朅発信な	さに奴みまし	目標値達成実績
令和3年度		D で 日 伝 (こ、		イン・2 、 02かり)] 促进(C系//*/	기 1년 #K2E1다 ~	チにみめよし	205, 195
	○ 市HP等情報							達成率:79.2%
令和4年度	温室効果ガスの削 た。	減を目標に、	コミュニテ	ィバスの利用	促進に繋が	る情報発信等	等に努めまし	247, 905
	○ 市HP等情報	设 発信回数: 1	2回					達成率:95.7%
令和5年度	温室効果ガスの削た。			ィバスの利用	促進に繋が	る情報発信等	等に努めまし	270, 499
γ-12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 -	○ 市HP等情報		O III					達成率:104.4%
<u> </u> 令和5年度 <i>0</i>	り事務事業における変更 の事務事業における変更			題等				上水十,10年,4/0
変更点	令和 5 年10月の運賃 「YouBusぬくもり乗					高齢者及び障	章害者手帳保	有者を対象とした
課題等	沿線利用者の需要に	合ったダイヤ	?設定等の利用	用促進策の風	景開			
			令和5年	F度事務事業	環境評価			
評価区分	評価	—			判例	断理由及び内	容	
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り実施できた。)の環境配慮を			うることができ 達成できた。		行動変容に	伴い、輸送人員が回
内部環境評	■ 3:概ね計画通り 実施できた。)の環境配慮を	を ともに、社 取り組んで	:会的弱者に配いることを確	ップに合わせ !慮した新しい !認しました。	乗車制度の導 今後も、より	入を行い、本	いた運賃の改定を行う 事業の安定的な運営に に合った事業運営を行

<u> 守和6年度</u>	平価 環境管理計	画•環境評価調	書(令和5年度	<u>E分)</u>		事業コード	2 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	環境共生係
	個	別指標の内容			現状値(年度)	目標	[値(目標年度)
騒音に関する相談件数				22件 (H30/2018)	22件	(R11/2029)	
	基本方針	2 健やか	こ暮らせる安		 環境を確保します		,
計画体系上	施策の方針		環境を守ります		R 元 と IE IA し み 7		
の位置付け	関連する目標指		に関する相談	件数			
	N 1 77 (17	a lor are	令和5年原	度事務事業 環	境管理計画		
	主な取組	祖の概要			目標値への達成見込		予算額
	発せられる騒音き び事業所への指導		相談者への	達成率:	8		— 千F
			前年度事務事		 J発見した課題等		
	多くは、建設・角 引き続き求めてV				者に対し、騒音規制法	に基づく届出の	分提出や、周辺住民
	V E + 687		令和5年月	度事務事業に係			
	有益影響				有害影響		
• 生活環境	の保全		_				
九	見定されるコミュニケ	ー ション			コミュニケーションク	への対応	
・騒音に関	する公害苦情		・迅速な野・騒音基準	見場対応 準等の丁寧な	説明		
			令和5年	丰度事務事業	実施結果		
主な取組結果		to the second		77 7 7 7 7			目標値達成実績
令和3年度 はま	応じて適切な指	導等を実施しま 工事におけるき	こした。 言情において <i>に</i>	は、騒音規制	基準に基づき現場対応 法に該当する機械を使 た。		8件
令和4年度	応じて適切な指	導等を実施しま 工事におけるき	こした。 言情において <i>に</i>	は、騒音規制	基準に基づき現場対応 法に該当する機械を使 た。		16件 達成率: - %
弱 令和5年度 ま	音規制法及び神 応じて適切な指	奈川県生活環境 導等を実施しま 工事におけるき	ぎの保全等に €した。 5情において <i>[</i>	関する条例の は、騒音規制	基準に基づき現場対応 法に該当する機械を使		24件
	事務事業における変				,0		70
変更点な	: L						
	題制基準以下の音 対応に苦慮する		番音と感じる i	- 띀の大きさは	人によって異なるため	苦情に繋がる	ことが多く、課とし
			令和5年	丰度事務事業	環境評価		
評価区分	ā	平価			判断理由及び	内容	
担当部課 環境評価	3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮			現場対応を行い、苦情 ね計画通りの環境配慮		
内部環境評価	3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮	を 的苦痛を伴 基づく現地	う問題で、迅 調査と必要に 認を徹底する	持します。騒音にかかる 速な解決を図る必要があ 応じた指導が不可欠です とともに、騒音に係る市	ります。そのた 。建設・解体事	めには、関係法令等に 業者には、法令に基づ

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組	み状況シート(令和5年度分)
目標指標 (目標値(年度))	令和5年度実績
公害・環境に関する相談件数 (50件(令和11年度))	58件
)上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組 と考える取組みについて以下に記入してくださ	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
)記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定]で具体的に記入してください。	三量的に)、今後の課題等を可能な 範
)記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関す、テム専門部会による外部評価)における参考資	
-)屋外焼却行為(野焼き)の苦情件数が多く、条 :よる屋外焼却行為も多く含まれる。近年、海老	名市の人口が少しずつ増加していく
」、農家による野焼きになじみのない人も多く転 認を行い、農家に注意喚起を行うとともに、框 認められている旨を説明している。また、農協を 「喚起回覧を行うことで、屋外焼却行為の苦情件	I談者に農家による野焼きは例外的に 通じて農家に対し屋外焼却行為の泊
)過去に苦情を受けた現場付近を通るときは、時 いる。そうすることで、苦情再発の可能性の有 「あっても苦情者との話しの相違を減らすことが	「無を確認できたり、再度苦情申立て

【令和6年度評価】外部評価シート(令和5年度分)								
基本	方針			施策の方針				
3 "えびならしさ"を守り ま		き継ぎ		1 都市環境を整備します				
目標:	指標			令和 5 年度実績				
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		□和○千及大帳				
これからも海老名市に住みたい? みたい、できれば住み続けたい。		うと住						
9 0 . 3 % (令和元年度)	90.3% (令和11年度	Ę)	アンケート実施なし 					
個別指標	担当 個別指標 部課 評価			目標指標進捗に関する所管課コメント				
道路整備への満足度(市政線・生活道路の整備に満足した人の割合)				当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断します。今後も幹線道路・準幹線道路及び生活道路の整備により道路ネットワークを充実させ、近隣住民の住環境の向上に取り組みます。				
美化推進員のポイ捨て、路	上喫煙巡回日数	3	3	指導件数について、減少しているが、海老名駅西口喫煙所におけるマナー違反者への指導件数が減少したものと考えられる。また、計画通り巡回を行い、美化清掃も行っているため、計画通りの環境配慮を実施できたものと考える。				
えびなクリーン作戦参加者	·累計数	2	2	市が主催した一斉美化活動は、開催していない。しかし、海老名市きれいなまちづくり事業や美化デー等の地域美化活動が定着してきているため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったものと考える。				
		外	部評価					
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。				
判断理由及び評価内容 海老名クリーン作戦が未実施であったものの、生活インフラのの需要部分である道路整備も着実に実行され ており、「住みたい街」のアップに寄与していると考え、内部評価を支持します。								

<u>令和6年</u> 月	医評価 環境管理計	<u>画·環境評価調</u>				事業コード	3 — 1 — a
担当部	まちづくり部	担当課	道路整備課	:		担当係	幹線道路係
		別指標の内容			現状値(年度)	目標	値(目標年度)
	への満足度(市政ア 満足と回答した人の		線▪生活道路	の整備に満	34.3% (R1/2019)) 35.1%	(R11/2029)
	其太方針	フ <u>哥 ロ /</u> 3	らしさ"を守	」 り、育み、将	子来に引き継ぎます		
計画体系 ₋ の位置付(+ 施策の万針	3-1都市環	境を整備しる	ます			
**************************************	1 関連する目標指標	標 ┃これからも海老			ート: ずっと住みたい、 	できれば住み続けた	ハと回答した人の割合)
	主な取組	の概要	市和り午月	度事務事業 環	・児官理計画 目標値への達成見		予算額
	<u> </u>	100 000			1	~	1 75 82
道路環境の	の整備によって、渋	た滞の解消と、	近隣住民の		41.1%		1,560,698 千円
住環境の「	句上を図る。						1, 500, 696
			*	達成率:117.	,		
			前 年度事務事	業の実施により	発見した課題等		
持になし。							
			A == == ==		7 am 14 07 007		
	有益影響		→ 令和5年度	ま事務事業に係	る境境影響 有害影	郷	
ME ME AT N		> 46 # d			H D #2		
	肖による排気ガスσ 表による粉塵、砂境		・道路工事	事による廃棄	物の増加		
	想定されるコミュニケ				コミュニケーション		
	思定されるコミューグ	ーション			コミューケーショ.	ンへの対応	
• 道路工	事に関する苦情			L事の実施 スの工窓なぎ	9 9		
				タの丁寧な説			
主な取組結	田の掘画		令和5年	F度事務事業	実施結果		■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
エペタが世	木の似女						口际但是从大根
令和3年度	工事受注者に低騒	音、低振動及び 5件	いて、機械が 排出ガス対策	布工が大気環 策型建設機械	境に与える負担の低 を可能な限り使用さ	滅を図るため、 :せた。	41.5% 達成率:120.3%
	古人《白 、》作古人《白 ` 云 口夕 `	ひょれた、大の乾	・/供 ナ、/ティ 、 。	とた 士営ら		: 七坛上古 \	上八平,120.5%
令和4年度	整備により、交通向上を図った。 工事で使用する	の利便性を向上 建設機械につい	させ、自動車 では、機械が	車等の排出ガ 拖工が大気環	スの減少並びに近隣 境に与える負担の軽	住民の住環境の 経滅を図るため、	市政アンケート 実施無し
		15件	排出ガス対策	^{我型建設機械}	を可能な限り使用さ	せた。	達成率:市政アンケート実施無
			の敕借を行	、 また 古		以改自 並未矮生	
令和5年度	道橋取付道路(市 る自動車等の排出 また、工事施工 に低騒音、低振動	道3号線)改良 ガスの減少並ひ について、機械 及び排出ガス対	により、駅原に近隣住民の 施工が大気野)整備を行い、また、市道1753号線道路改良、並木橋歩こより、駅周辺の交通の利便性を向上させ、渋滞の解消によこ 近隣住民の住環境の向上を図った。 近ボ大気環境に与える負担の低減を図るため、工事受注者 近建設機械を可能な限り使用させた。			
	・工事件数 2 ・工事完成延長 2	21件 1542m					達成率:117.1%
令和5年度	の事務事業における変		より発見した課	題等			上次子,111,170
, , , , , , ,	なし						
課題等	な し						
			<u> </u>	F 唐 車 数 声 要	理接頭便		
評価区分	· <u></u>	<u></u> 平価	丁州ワゴ	F度事務事業 -	環境評価 判断理由及	び内容	
и (пш к≕ /)	•	, ,,,,,,,	当初予定して	ていた道路整備			とや、工事受注業者に環
担当部課 環境評価	3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮を	境配慮型建設す。	受機械を使用さ 道路・準幹線道	さたことから、概ね計画 各及び生活道路の整備に	どおりの環境配慮を	

令和6年度	評価 環境管理計画	<u>•環境評価</u> 調	書(令和5年月	分)		事業コード	3 — 1 —	b		
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係			
		指標の内容			現状値(年度)	目相	票値(目標年度)			
美化推進員	のポイ捨て、路上雪	契煙巡回日数			292日 (H30/2018)	292日	(R11/202	<u>2</u> 9)		
=======================================	基本方針	3 ″えびた	よらしさ"を守	り、育み、	 将来に引き継ぎます	1				
計画体系上 の位置付け	施策の方針	3-1都市環	環境を整備しる	す						
	関連する目標指標	これからも海ネ			「一ト:ずっと住みたい、でき ^ま 環 <mark>境管理計画</mark>	こば住み続けたし	Nと回答した人の割合))		
	主な取組の)概要	11 11 0 4-15	子切子木 ·	目標値への達成見込		予算額			
美化推進員による公共的な場所(歩道など)(動および巡回、注意啓発)の清掃活	生	294日		2, 477	千円			
			前在度惠務惠	達成率:100 をの実施によ	・% り発見した課題等					
		こ限定の喫煙			煙に関する通報が寄せら	れており、糸	細かく指導を実施	<u>i</u> †		
る必要があ			令和5年原	事務事業に	系る環境影響					
	有益影響				有害影響					
・生活環境 ・景観の向			_							
?	想定されるコミュニケ ー	ション		コミュニケーションへの対応						
・ポイ捨て等に関する苦情			・巡回時の	・巡回時の周知啓発の徹底						
			令和5年	度事務事業	実施結果					
主な取組結果		D 2 /2 . 2					目標値達成実統	漬		
令和3年度	冷和3年度合計:1	込みなど指導 55件	算方法を工夫	7法を工夫したため、指導件数が増加した。			292日			
		38件					達成率:1009	%		
会和4年度 □	予定通りの日程で巡 市民からの通報を受 う和4年度合計:1	けての張り込	込みなどの指導	などの指導方法を継続し、指導件数を維持した。			293 日			
	令和3年度合計:1						達成率:1009	%		
△和5年度	予定通りの日程で巡 市民からの通報を受 う和5年度合計:1	けての張り込	込みなどの指導	草方法を継続	売した。		293 日			
ŕ	合和4年度合計:1	56件					達成率:100%	%		
令和5年度の	事務事業における変更	点及び実施に	より発見した課	等						
変更点	每老名駅西口喫煙所	の廃止								
	契煙所外で喫煙や加 と実施する必要があ		艮定の喫煙所	での紙巻きた	とばこの喫煙に関する通	報が寄せられ	ており、細かく扌	指導		
			令和5年	度事務事業						
評価区分	評価	i e			判断理由及び内	容				
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り実施できた。	の環境配慮	^ど 者への指導	4件数が減り	成少しているが、海老名! ♪したものと考えられる。 こめ、計画通りの環境配∫	また、計画	通り巡回を行い、	美		
内部環境評価	3:概ね計画通り実施できた。	の環境配慮	を 巡回及び美 少は、積年	の巡回・指導	Z持します。 II通り実施できたことは高く Iの効果によることも考えら IIの必要性が低下することも	っれます。市民				

	評価 環境管理計画	•環境評価調	書(令和5年度分))	事業コード	3 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課		担当係	廃棄物政策係
	個別	指標の内容		現状値(年度)	目標	票値(目標年度)
えびなクリ	一ン作戦参加者累計	十数		4,800人 (R1/2019)	5, 000ノ	(R11/2029)
計画体系上	基本方針			育み、将来に引き継ぎます		
の位置付け	肔束の万針		環境を整備します *タまにはみないか(*	市政アンケート:ずっと住みたい、でき	カげ介ユ結けたし	1と同体した 1の割合)
		これがりも海を		多事業 環境管理計画	れば、生み物に)だり	で回告した人の割占
	主な取組の	概要		目標値への達成見込		予算額
モルテ 一 庇	一斉美化活動を主催	とナマ		5190		 - 千P
户に 反、	万天に伯勢で土匪	Ey ⊘	`#- hi	Foto 100 0/		- ''
				歩率: 100 % 実施により発見した課題等		
				大心により元光しに休返す		
大回開催学	区、開催時期及び閉	催方法の検	討			
			令和5年度事務	务事業に係る環境影響		
	有益影響			有害影響		
生活環境			_			
	化意識の向上	· _ `		_~ _/ ` ` ·	~ 사다	
	想定されるコミュニケー	ノヨン		コミュニケーションへ	の対心	
・実施方法	に関する相談・要望	<u> </u>	・綿密な事前	調整		
			令和5年度	事務事業 実施結果		_
Eな取組結果	具の概要 ニューニー					目標値達成実績
>和0左座 ☆	近期 マットウノエフ	成为点面标识	- リェルロ、声光中山			中止
7個3年度 末	所型コロナウイルス	愍柴炡冉仏/	、に伴い事業中止			生产类 00/
						達成率:0%
会和4年度 ≉	有馬小学校区で開催	(1 Q 5 k ž	÷ †n)			4,995人
1) THT TIZE (1)	月初小子仪匹で開催	(133)(%	>/11/			達成率:99.9%
						建 风华:99.970
 ∂和5年度 ∮	官協力					実施なし
						達成率:0%
 う和5年度の	事務事業における変更	点及び実施に	より発見した課題等			上 建以干,0/0
変更点 -	_					
多史从						
課題等	次回開催学区及び、	盟/房 七注				
林思守	へ四囲催于 区 及い、 	用惟刀伍				
	== 17	-	令和5年度			
評価区分				判断理由及び内	N谷	
旦当部課 環境評価	2:一部計画通り 実施できなかった		^ど ちづくり事業 [、]	一斉美化活動は、開催していな や美化デー等の地域美化活動が 慮を実施できなかったものと考	定着してきて	
内部環境評価	担当部課評価の内容を支持します。 2 : 一部計画通りの環境配慮を 日標値に対する達成率が高いこと また積年の活動の結果の定義がみら				不明ではあるが、活	

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和5年度分)
目標指標(目標値(年度))	令和5年度実績
これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート: ずっと 住みたい、できれば済み続けたいと回答した人の割合) (90.0%(令和11年度))	アンケート実施なし
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
 ○新型コロナウイルス感染症拡大により一時は喫煙	『者自体が減っていたものの』最近 『なななななないない。
では慣れもあり、喫煙者自体が増加し、市の喫煙所たことから、指導を強化。特定の時間帯における張も指導効果を高めるよう努めた。	「からはみ出しての喫煙者が増加し
〇路上喫煙に関する苦情や情報提供が寄せられる機 煙所だけでなく、巡回ルートの中で張り込みも行っ	

	【令和6年度評価】	外部	評価シ	ート(令和5年度分)	
基本	方針		施策の方針		
3 "えびならしさ"を守り ま ⁻		き継ぎ	2 農業地を守ります		
目標	 指標				
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和5年度実績	
農地	面積			4751	
5 2 6 ha (平成 3 0 年度)	5 2 6 ha (令和 1 1 年度	₹)		4 7 5 h a	
個別指標	<u> </u>	担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
農作業受委託面積		3	3	営農組合作業従事者の高齢化等により、目標数値を上 回ることは厳しい状況である。	
市民農園利用者数		3	3	事業の性質上、紙媒体の通知・掲示物の量は横ばいであったが、利用説明会を集合開催し細やかな利用説明を行い、個別の質問等にも対応し、マナー意識の向上を図った	
農業体験イベント参加者数		3	3	コロナ禍が開けてのイベント開催であったが、特に大きな 混乱等もなく、たくさんの市民に体験していただけた。	
		外	部評価		
3		概ね	計画通りの環境配慮を実施できた。		
	判	断理由	及び評	価内容	

活動状況からいろいろ工夫していることが伺えます。3と評価します。

- さらに以下を考慮して今後も取り組んでください。
- 3-2-b、利用の多い高齢者に伝わりやすい情報提供を今後も工夫してください。
- 利用者が増えているのは良いことで、限りある区画を分割するなどの工夫は大変良いと思います。地権者からの提供増がないなら、いろいろ工夫してください。
- 3-2-c、農業体験イベントは、参加者の意見、生産者団体と検討など関係者とのコミュニケーションは 大切です。今後の成果のため工夫してください。

<u> 守和6年8</u>	食評価 環境管理計	<u> 幽•塓塻評価調</u>	<u> </u>	<u>「分)</u>		事業コード	3 — 2	<u> </u>
担当部	経済環境部	担当課	農政課			担当係	農業振興係	
	但	別指標の内容			現状値(年度)	目標	値(目標年度)	
農作業受	委託面積				32ha (H30/2018)	32ha	(R11/	2029)
計画体系 ₋ の位置付(3-2農業地	らしさ″を守 !を守ります	り、育み、	リード			
	因是 / 也口标用	床 及。已四 良	令和5年原	ま事務事業 J	環境管理計画			
	主な取組	1の概要			目標値への達成見込	:	予算額	
市内営農総 の受託作	組合による水稲作は 業	こおける稲刈り	や籾摺り等	Note 15 dec.	32ha		8, 912	千円
			前年帝重教重	達成率:100	% り発見した課題等			
		V H VV I N = 25 I H						
南部フイ	スセンター内の農業	ミ用機械の破損			定の費用を要している	0 0		
	有益影響		令和5年原	ま事務事業に信	系る環境影響 有害影響	3		
・農地の	荒廃の抑制			半う廃棄物の 吏用による排				
	想定されるコミュニケ	一ション			コミュニケーション	への対応		
・農作業	受委託に関する相談	Ķ	円滑な原		Eに向けた指導			
			令和5年	F度事務事業	実施結果			/
主な取組結							目標値達成	美 積
令和3年度		。中部営農組合			5内営農組合が農作業 B農業拠点施設による		Jolla	09 %
令和4年度	農地が荒廃するこ 水稲作農作業を受		とめに中部営力	のに中部営農組合、南部営農組合が稲刈り、乾燥籾摺り等 <i>の</i>				a
		· -						
令和5年度	農地が荒廃するこ 水稲作農作業を受		ために中部営力	に中部営農組合、南部営農組合が稲刈り、乾燥籾摺り等				a
人和巴尔英	の東数東巻におはて本	京 上 ひょう 中 ケィー	L1128 E1 4 EE1	35 <i>bb</i> -			達成率: 9	93 %
	の事務事業における変	(史は及び夫地に)	より充兄しに訴	<u>退守</u>				
変更点	なし							
課題等	南部農業拠点施設 計画的な機械の更 される。	に設置されてい 新が必要と考え	いる農業用機札 ている。また	或は、施設関 こ、今後、営	開設から10年以上が経 営農組合農作業従事者(過し老朽化が進 の高齢化により	んでいること 、担い手不足	から、 が懸念
		-	令和5年	F度事務事業				
評価区分	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平価			判断理由及び	内容		
担当部課 環境評価	3:概ね計画通実施できた。	りの環境配慮る	を 営農組合作 ある。	F業従事者の)高齢化等により、目標	票数値を上回る	ことは厳しい	伏況で
内部環境評	3 : 概ね計画選 実施できた。	りの環境配慮る	ど 目標値設定	どの見直しも	ドを支持します。 の含め、農業用機械の に対して計画的な取り約			者の高

<u> 令和6年度</u>	評価 環境管理計画	*環境評価調	<u>書(令和5年)</u>	<u>分)</u>		事業コード	3 — 2 — b			
担当部	経済環境部	担当課	農政課			担当係	地産地消推進係			
	個另	別指標の内容			現状値(年度)	目相] [[値(目標年度)			
市民農園利	 用者数				479人 (R1/2019)	580人	(R11/2029)			
	基本方針		こらしさ"を守	り、育み、こ	<u> </u> 					
計画体系上 の位置付け	施策の方針	3-2農業地	を守ります	/\ D•/\						
07位直内(7	関連する目標指標	農地面積								
	<u></u> 主な取組の	が神童	令和5年/	事務事業	<mark>環境管理計画</mark> 目標値への達成見込		予算額			
	工。水水池。	<u> </u>			日保恒、00年成元と		广开识			
地権者から	借りた畑又は市所有	有の畑を市内	在住者に廉		525人		4 OCC TI			
画で貸し出す。							4,966 千円			
	1			達成率:91%						
			前年度事務事	業の実施によ	り発見した課題等					
利用者の多	くが高齢者のため、	ホームペー	ジによる情報	提供には限	界がある。					
			令和5年[事務事業に	系 る瑨愔影響					
	有益影響		11440-7	チ切す木に	有害影響	3				
Neta / Lutta Lat.	40 14 14 	ı		7 = 4 (++) - 2 2						
• 遊休農地	、耕作放棄地の減少	♪	・巾氏農	國整備 にかか	いる廃棄物の増加					
7	想定されるコミュニケー	ション		コミュニケーションへの対応						
		a) a Halda	>=> !.) .							
・市民農園	利用者のマナー違反	又による舌情	・迅速な	見場対応						
			 令和 5 :	度事務事業	実施結果					
主な取組結果	の概要						目標値達成実績			
九	推草繁茂・区画外利	用などの苦情	fに対し、速 ^s	上対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示 J用者減を予防した。また、利用者の増加を図るため、ホー k続して行った。						
1	ムページの空き状況	の更新頻度を	:継続して行っ							
					認、関係者への通知、		518人			
				また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況						
				「整備に伴う用地買収により面積が減少する農園について、 「を行い、区画数の減少を最小限に抑えた。						
杂	雌草繁茂・区画外利	用などの苦情	『に対し、速 [』]	かな現場確	認、関係者への通知、		達成率:89.3%			
					図るため、ホームペー		516人			
1)史新頻度を継続し II外利用の禁止等細			- あたり利用	説明会を集合開催し、	雑早繁茂・凶	達成率:88.9%			
	事務事業における変更									
*= F 7	左左座の利用による	いも日田芸田人	、ナ、住 八田/명:	+-						
変更点 矛	や年度の利用にあた	り利用説明芸	で集合用作	/ /Co						
	用説明会として2	日開催したが	3. 事前申込	要とし当日	になるまで出席者数か	ぶ分からないたと	 め、天候等により出			
	居人数の偏りがあり			2007.		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
			令和 5 :	度事務事業	環境評価					
評価区分	評値	5			判断理由及び	内容				
I = .1. 4	o law) at the contract of		事業の性が	重上、紙媒位	xの通知・掲示物の量に	は構ばいであって	たが、利用説明会を			
担当部課 環境評価	3: 概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を			別用説明を行い、個別の					
*** ****	大旭しさた。		向上を図	った						
ch \$0.75 L+ =7.7	3:概ね計画通り	の環境配慮を			がを支持します。		will - 수 도 1. kl=ヸ/m^ ·			
内部環境評価	実施できた。		神ベールパよ/		:行うことによりマナー 利用者増加を図るた&					
			- I/: L/X 9 .	. A A RU A		コンコロレロ カロカスかく				

令和6年度	医評価 環境管理計画	•環境評価調	(令和5年)	を 分)		事業コード	3 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	農政課			担当係	地産地消推進係
	個別	指標の内容			現状値(年度)	目標	値(目標年度)
農業体験~	イベント参加者数				2,700人(R1/2019)	3,000人	(R11/2029)
計画体系_	基本方針			り、育み、	_ 呼来に引き継ぎます	ļ	
の位置付け	+ 地東の万軒	3-2農業地	を守ります				
	′ 関連する目標指標	辰地山傾	令和5年/	度事務事業 迂	環境管理計画		
	主な取組の	概要			予算額		
トマトのもします。	もぎ取り及びサツマイ	'モ等の掘り取	りを実施		2000人		469 千F
			前年度事務事	達成率:67% 業の実施によ り	・ リ発見した課題等		
ラッカセィ	イの掘り取りが、生育				で、目標値を下回った		
	-L- V. E4 680		令和5年原	度事務事業に係			
農業にも	有益影響 対する理解の促進				有害影響		
	農業従事者・農作物は) —				
	想定されるコミュニケー	ション			コミュニケーションへ	-の対応	
・イベン	ト実施に関する問い合	うわせ	・丁寧な	イベント内容	の周知		
→ +> II = 40 4±	田の畑西		令和5年	丰度事務事業	実施結果		目標値達成実績
主な取組結	未の做安						日保但建成美祖
令和3年度	・サツマイモの掘り 令和3年10月2		00~11:30	大谷地区	1,000人		
	・トマトのもぎ取り						達成率:33.3%
令和4年度	・トマトのもさ取り令和4年5月22・ラッカセイの掘り	取り		大谷地区 1,000人参加			1,300人
	令和4年9月25	日(日) 9:00)~12:00 F	中新田地区	達成率:43.3%		
人和巴尔萨	・トマトのもぎ取り 令和5年5月21・ジャガイモの掘り		5~11:00 z	大谷地区 700人参加			1,500人
令和5年度	令和5年6月4日 ・サツマイモの掘り 令和5年10月2	取り		谷地区 300人参加			達成率:50%
 令和5年度(の事務事業における変更				500人参2世		
変更点	「梨のもぎ取り」 ラッカセイの掘り				」を6月に実施した。		
課題等	天候や作物の生育	不良によりイ	ベントを開作	崖することが	できない。		
			令和54	丰度事務事業	環境評価		
評価区分	評価	Fi .			判断理由及び内	P容	
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を			ベント開催であったが、 いただけた。	、特に大きなど	昆乱等もなく、たく
内部環境評価 3: 概ね計画通りの環境配慮を 担当部環境評価の内容を支持します。 コロナ禍があけてのイベントで、中止した事業もある中,参加者数が昨 加していることは評価できます。引き続きイベントの運営を工夫し、会続的な事業に取り組んでいただきたい。							

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート(令和5年度分) 目標指標 (目標値(年度)) 令和5年度実績 農地面積 (526ha(令和11年度)) 475ha

〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。

〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。

〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価 (海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価) における参考資料とします。

①有害鳥獣捕獲等業務委託事業

有害鳥獣による生活環境及び農業被害を防ぎ、市民生活の安定を図る為、アライグマとハクビシンを対象に捕獲及び駆除する業務を委託事業として実施している。

|今後も捕獲及び駆除の必要性は続くものと思われ、継続して取り組んでいきたい。

依頼件数・・69件 駆除頭数・・50頭

②農機具貸し出し事業

農業従事者の農業用機械取得の負担軽減を図る目的で、市で所有している農業用機械(トラクタ、田植機、水稲コンバイン、汎用コンバイン)の貸出しを有料で行っている。今後も事業を継続していきたい。

利用農業者・・延べ 72名 利用日数・・・延べ 87日

③用排水路等維持管理委託事業

農業用水通水前をはじめ、市内の農業用用排水路の浚渫及び草刈等の維持管理を各 地区の生産組合に委託し行っている。

委託期間・・4月1日~2月29日

委託金額・・19生産組合計5,192,000円

4)海老名市農業振興対策事業

農畜産業の経営の安定と発展を図るため、その事業を行うものに対し、予算の範囲内で補助金を交付している。その中でも農用地営農事業及び農用地利用集積事業については、農用地内において営農を行う農業者等に対して、申請に基づき補助金を交付しています。

令和3年度実績

交付決定件数••345件

補助金額・・・・15,153,300円

	【令和6年度評価】	外部	評価シ	ート(令和5年度分)	
基本	方針		施策の方針		
3 "えびならしさ"を守り ま ⁻		 き継ぎ	3 地域資源を守ります		
目標	 指標				
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和5年度実績	
自然景観への満足度(環境アング 然景観が良い、やや良いと回答し		どの自		7) b 0 m t t l	
74.9% (平成30年度)	75.0% (令和11年度	()	アンケートの実施なし		
個別指標	<u> </u>	担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
郷土資料館 • 歴史資料収蔵	館来館者数	3	4	温故館、歴史資料収蔵館の来館者数はコロナ禍が明けたことも 伴って、多くの方に来館していただけたため。 今後も多くの方に来ていただけるように取り組んでいきたい。	
歴史関連イベント・講座参	加者数	3	3	コロナ禍が明けたことにより令和4年度よりもイベントへの参加者を増加することができたため。 今後も多くの方にイベントに参加していただけるように取り組んでいきたい。	
		外	部評価		
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。	
		断理由	 及び評	価内容	

- 温故館、歴史資料収蔵館の来館者数の目標達成はとても良いことと思います。
- 温故館の展示会、歴史、文化財のホームページである「えびな文化財探究舎」は充実してきていると思いますが、更なる充実を望みます。例えば、「震災の記憶」「海老名に伝わる銅鐸」等の展示会の解説書をホームページで公開してはいかがでしょうか。展示会終了後も成果物が生かせると思います。

令和6年度	評価 環境管理	<u> </u>	<u> </u>	E分)		事業コード	3 — 3 — a			
担当部	教育部	担当課	教育総務課	ļ		担当係	文化財係			
		個別指標の内容			現状値(年度)	目標	標値(目標年度)			
郷土資料館	₹ 歴史資料収				11,176人 (H30/2018)	ر11, 500	(R11/2029)			
計画体系上	基本方金				将来に引き継ぎます					
の位置付け	. 池束の方		流を守りまっ ^{満足度(環境で}		模川や農地などの自然景観が	(良い わわ良)	コと同答した人の割合)			
	肉圧する口巾	来1日末 口 州 从 成		度事務事業 :		- KV C C C C	<u> </u>			
	主な	取組の概要			目標値への達成見込		予算額			
		催する。 資料を整理し閲覧	可能資料を	能資料を 達成率: 86.0 %						
			前年度事務事	業の実施によ	り発見した課題等					
			令和5年月	度事務事業に係						
	有益影	響			有害影響					
・市の歴史	に関する理解	の促進	_							
	想定されるコミュニ	ニケーション		 コミュニケーションへの対応						
• 施設運営	に関する問い	合わせ・苦情	適切な力	施設運営の実	手施					
			全和 5.4	丰度事務事業	宝施結里					
主な取組結果	果の概要		17 14 0	127377	ンベルビャロンド		目標値達成実績			
令和3年度	るよう機材を説	2置(まん延防止措	計置等発令中 (00周年記念記念展示を実施。また、館内でVR視聴ができ 登等発令中は不可)。 単し閲覧可能資料の公開に向けた業務を実施。						
					7 [] d [] []	達成率:70%				
△和4左座	公開などを開催	並した。。		がりの形」や市登録有形文化財として初となる高札の特別 2、公開に努め、歴史資料収蔵館収蔵品目録第2集を刊行し						
7	₹- ₀					達成率:82%				
	00年~」、企			Í物語」をはじめ、資料展「震災の記憶 〜関東大震災から る銅鐘 〜国分寺銅鐘重要文化財指定100周年記念〜」を開						
D.		官では歴史資料の整	を理を行い、	理を行い、ミニ収蔵品展「大正から昭和初期の双六」を開催						
令和5年度 σ	事務事業におけ	る変更点及び実施に。	より発見した課	題等						
変更点	なし									
課題等	なし									
			全和 5.2	丰度事務事業	環境評価					
評価区分			1,410	一尺子切子不	<u> </u>					
担当部課 環境評価	3:概ね計ī 実施できた。	画通りの環境配慮を	一方に来館	していただけ	残館の来館者数はコロナイナ けたため。 こいただけるように取り糸					
内部環境評価	4 :計画を 施できた。	上回る環境配慮を領	実 コロナ禍 z を達成で i	が明けたこと きたのは、核	内容を支持します。 : も要因の1つだと思いる 後々な展示を企画し興味を 継続的な取り組みについ	を持っていた	だく工夫をしている			

令和6年度	評価 環境管理計画	可•環境評価調		分)		事業コード	3 — 3 — b		
担当部	教育部	担当課	教育総務課			担当係	文化財係		
	個.	別指標の内容			現状値(年度)	目標	値(目標年度)		
歴史関連イ	ベント・講座参加	者数			319人 (H30/2018)	456人	(R11/2029)		
シェルズル	基本方針	3 ″えびな	らしさ"を守	<u>り、育み、</u>	 将来に引き継ぎます				
計画体系上 の位置付け	. 肔束の万針	3-3地域資	源を守ります	-					
	関連する目標指標	[自然景観への温			模川や農地などの自然景観 環 <mark>境管理計画</mark>	見が良い、やや良し	ハと回答した人の割合)		
	主な取組の	 の概要	17 TH O 4715	(平切平木)	目標値への達成見込		予算額		
	「会及び文化財ガイ 講座を実施する。	ドを開催する。		300名 達成率: 65.7 %					
			前年度事務事		ッ・・ /○ り発見した課題等				
			11 1 2 1 13 1 1		, you or express of				
			令和5年度	事務事業に	系る環境影響				
	有益影響				有害影響				
・市の歴史	!に関する理解の促	進	_						
;	想定されるコミュニケー	ーション			コミュニケーション・	への対応			
・イベント	実施に関する問い	合わせ	・丁寧なっ	・丁寧なイベント内容の周知					
				度事務事業	実施結果				
主な取組結男	県の概要						目標値達成実績		
令和3年度	目模国分寺跡指定10 の相模国分寺を復元 まが玉作り、矢じり	こしたVR体験	会を実施した	-0	化財ガイドを実施。ま	た、奈良時代	306人 達成率: 67%		
3	 文化財講演会及び文	て化財ガイド、	夏休み体験詞	夏休み体験講座を人数を縮小してではあるが開催することが					
令和4年度	できた。			D国分寺を復元したVR体験会を実施した。					
		オ講演会及び文	化財ガイド、	<u></u> 財ガイド、夏休み体験講座の人数等を拡大し、開催するこ					
	とができた。 また 海老名市文化	/ 全館にて海老	名の郷土芋飼	石の郷土芸能祭を開催した。					
	事務事業における変								
サ州5千度の	尹坊尹未にのいる友	史点及い美元によ	り光兄した味	2寸					
変更点	なし								
課題等	なし								
			令和5年	度事務事業	環境評価				
評価区分	評	価			判断理由及び	内容			
担当部課 環境評価	3:概ね計画通実施できた。	りの環境配慮を	ことができ	きたため。	により令和4年度より ベントに参加していたた				
内部環境評価	3:概ね計画通実施できた。	りの環境配慮を	担当部課環境評価の内容を支持します。 コロナ禍が明けた影響もあると思いますが、事業を拡大し、海老名の歴史や文 化をより多くの方に認識してもらえた点を評価します。今後の更なる取り組み に期待します。						

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和5年度分)
目標指標	TOTAL TIMES
(目標値(年度))	令和5年度実績
自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの 自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合) (75.0%(令和11年度))	アンケート実施なし
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	は的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
○景観条例や住みよいまちづくり条例に基づいて、 ける良質な景観の維持・保全を図りました。	民間寺による開発・建築行為にお

	【令和6年度評価】	外部	評価シ	ート(令和5年度分)		
基本	方針		施策の方針			
4 みんなでえびなの環	ぱ境を考え、行動し る	ます	1 環境を考え、行動します			
目標打	 指標					
(現状値(年度))	(目標値(年度)))		令和5年度実績 		
環境への関心度(環境アンケー 高くなったと回答した人の割合)		合いが		マン		
43.5% (平成30年度)	4 8. 0 % (令和 1 1 年度	Ē)		アンケート実施なし		
個別指標	init	担当部課評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント		
環境関連情報発信回数		3	3	環境に関する発信回数は昨年度と同数だが、市民の環境問題に対する理解の促進に繋がり、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。		
啓発 - 出前講座参加者数		3	2	昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により、申し込みがなく、開催できていなかったが、令和5年度は2校で実施することができたため、数値としては達成できていないが、おおむね計画通り実施できたものと考える。		
海老名市きれいなまちづく 体数	海老名市きれいなまちづくり事業への登録団 体数 3			登録団体の減少がみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大による活動中止が減少し、各団体の活動が活発になったと考えられるため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。		
海老名市地域緑化事業への	登録団体数	3	3	前年度同様、多くの団体が活動を行い、市民に 対する緑化への関心を広げることができたた め。		
		外	部評価			
3		概ね	計画通	りの環境配慮を実施できた。		
	半川	断理由	及び評	価内容		

コロナ禍で、出向いた教育などが一部未達成なものがありますが、おおむね計画通りだと判断し、内部評価 通りとします。

ただし、各課とも、各年度の目標値が明確にたてられておらず、令和11年度の目標に対する活動になっています。そのため、単年度の達成度合いがわかりにくく、未達成の場合の是正がとりにくい状態です。今後、各年度ごとの目標値を決め、年度ごとの達成をを見ていくマネジメントシステムを期待します。

令和6年月	<u> 寶評価 環境管理計画</u>	<u>"環境評価調</u>	<i>書(令和5年]</i>	分)		事業コード	4 — 1 — a	
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	環境共生係	
	個兒	別指標の内容			現状値(年度)	目標	標値(目標年度)	
環境関連	情報発信回数				5回(H30/2018)	8回	(R11/2029)	
計画体系	基本方針		でえびなの環		<u></u> 亍動します	<u> </u>		
計画体系 ₋ の位置付(+ 肔束の万針		考え、行動		¥ 1 11 2 - 11 2 - 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1	/ t	76	
	関連する目標指標	環境への関		ノケート:以 事務事業 現	前と比べて関心度合いが	高くなったと	回答した人の割合)	
	主な取組の	D概要	11 14 C T 15	2 学初学术 5	予算額			
関連情報	スモッグ及びアイド を広報えびな等にて 発イベントを通じた!	発信		目標値への達成見込 6回 達成率: 75%				
			前年度事務事					
コロナが糸	終息し、環境啓発イー	ベントを開催	できる状況と	なったため、	今後は情報発信回数を	を増加できる。	よう努める。	
	有益影響		令和5年原	ままろい ままま ほうしゅう とうしゅう しゅう とうしゅう しゅう まんしゅう はいしょう はいしょう はいい はい しゅう	る環境影響 有害影響			
・環境問題	題に対する理解の促	進	_					
	想定されるコミュニケー	<u></u> ション			コミュニケーションへ	の対応		
・環境情報に関する問い合わせ・丁寧な環境情報周知の徹底								
			令和5年	F度事務事業	実施結果			
主な取組結	果の概要						目標値達成実績	
令和3年度	広報えびなで新た「生きもの大調査				6回			
					達成率:75%			
令和4年度	広報えびなで新た「生きもの大調査				7回			
						達成率:87.5%		
令和5年度	・開発行為等で一定	:」や「えびた :規模以上の駅	≿SDG s 環境マ È車場を有す。	イレージ」(る事業主に対	掲載しました。 こ関する情報発信を行い し、駐車場敷地内で見 スモッグ発生の抑制に	やすい場所に	7回	
A == 1 =					達成率:87.5%			
☆和5年度(┃	の事務事業における変見 「	ビ点及び実施に	より発見した課	退 等				
変更点	なし							
課題等	目標値達成のための	、情報発信回	団数増加の検討	चे _°				
			令和5年	F度事務事業				
評価区分	評価	Щ			判断理由及び内]容		
担当部課 環境評価	3:概ね計画通り実施できた。)の環境配慮			は昨年度と同数だが、 通りの環境配慮を実施			
内部環境評価 3:概ね計画通りの環境配慮を 担当部課環境評価の内容を支持します。								

<u> </u>	<u>評価 環境管理計画</u>	<u>·環境評価調</u>	書(令和5年度分)	事業コード	4 — 1 — b
旦当部	経済環境部	担当課	環境政策課		担当係	廃棄物政策係
	個別	指標の内容		現状値(年度)	目標	票値(目標年度)
発・出前	講座参加者数			645人(H30/2018)	710人	(R11/2029)
ユースト	基本方針	4 みんな	でえびなの環境で	 を考え、行動します		
計画体系上 の位置付け	・ ・		考え、行動しま		· - / 4.	
	関連する目標指標	塚境への関	<u>」度(垣境 アンケ</u> 令和 5 年度事	<u>ート:以前と比べて関心度合いが</u> 務事業 環境管理計画	高くなったと	<u> 回答した人の割合)</u>
	主な取組の)概要	が相の「及手	目標値への達成見込		予算額
、学校や事)出前講座	業所、集合住宅へ起 を行う	生き、ごみの		922人 		— ff
)実施により発見した課題等		
F成した動	画等の学校等での活	5用方法の検		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		
	有益影響		令和5年度事	務事業に係る環境影響 有害影響		
	7 年 2 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1					
環境問題	に対する理解の促進	進	-			
7	想定されるコミュニケ ー :	<u></u> ション		コミュニケーションへ	- の対応	
講座等実	施に関する問い合わ	つせ	・丁寧な講座	等内容の周知		
			令和5年度	事務事業 実施結果		
こな取組結果	見の概要					目標値達成実績
3和3年度	昇催なし					0
						達成率:0.0%
計和4年度 ፟፟	昇催なし					0
						達成率:0.0%
計和5年度 ᡮ	ー 白ケ谷小学校、有鹿	小学校で小学	×4年生に向けた	出前講座を開催(160人参加)		160人
						達成率:17.3%
和5年度の	事務事業における変更	「点及び実施に	より発見した課題等			
変更点 -	_					
課題等	作成した動画等の学	校等での活月	月方法の検討			
			令和5年度	事務事業 環境評価		
評価区分	評価	<u>fi</u>		判断理由及び内	容	
3当部課 環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮	^を できていなか	新型コロナウイルス感染症の影かたが、令和5年度は2校で実きていないが、おおむね計画通	<u>施</u> することが	できたため、数値と
內部環境評価	2:一部計画通り 実施できなかった			E座の開催ができたことは評価し なる周知が図れるよう出前講座		

	<u>评価 環境管理計画</u>	*填現評価調	<u> </u>	<u>分)</u>		事業コード	4 — 1 — c	
旦当部	経済環境部	担当課	環境政策課			担当係	廃棄物政策係	
	個別	川指標の内容			現状値(年度)	目相	票値(目標年度)	
事老名市き	れいなまちづくりヨ	事業への登録	団体数		56団体(H29/2017)	56団体	(R11/2029)	
計画体系上	基本方針		でえびなの環		<u>-</u> 行動します			
の位置付け	施策の方針		考え、行動し		サール ジー明 2 古人に	<u> </u>		
	関連する目標指標	塩現への関ル			前と比べて関心度合い ^{環境管理計画}	か高くなつたと	回合した人の割合)	
	主な取組の)概要	17 TH O TH	(子切于木)	目標値への達成見込	<u> </u>	予算額	
	が使用する公共用は	也等の美化活	動に奨励金		46		1,248 千円	
と交付する				達成率: 8			1	
			前年度事務事		ジューグの リ発見した課題等			
			的十尺子初子	木切	/ プログログ/ こ			
団体登録を	継続しない団体がは	曽えている点						
			令和5年周	事務事業に係				
	有益影響				有害影響	最		
・生活環境			_					
	化意識の向上							
想定されるコミュニケーションへの対応								
実施方法	に関する相談・要望		 ・綿密な	手前調整				
人加西方四		Е.	//ирг т. ж	- 114 Mat 157				
- +> 177 公月 公士 日日	の 振悪		令和5年	度事務事業	実施結果		■ 目標値達成実績	
とな取組結果 	:のベ安						日标但连风关模	
≥和3年度 /	8団体がきれいな	またべくりす	「業の団体系	また行った			48団体	
	- 0 国体が-C400 / 3	よりライクす	"未少 <u>因</u> 件豆"	K-2-11-27Co		-		
							達成率:85.7%	
○和4年度 4	. 6団体がきれいな	またべくりす	で 業の田休 彩	まな行った			46団体	
D 作14 牛 支 4	: 0回体が3400元	より フくりす	未の団体なり	水を11つ/こ。		_		
							達成率:82.1%	
\fue f \fa	0日仕ぶさないよ	ユ チ さえ N す		ョ <i>ナ 仁</i> 、 よ			42団体	
7和5年度 4	- 2団体がきれいな	よりつくり手	業の団体登録	求を仃つに。)	
から年度の	事務事業における変更	占みが宝体に	FU&目Lも課!	百 <i>华</i>			達成率:75%	
が出る平度の	事務争未にのいる友気	はは及び天地に	より光光しに味	25寸				
変更点	: L							
課題等]体登録を継続しな	い団体が増え	ている点					
			令和5年	度事務事業	環境評価			
評価区分	評価	<u> </u>	1,11,0	.Z 1 33 + X	判断理由及び	が内容		
旦当部課 環境評価	3:概ね計画通り 実施できた。	の環境配慮を	^ビ 止が減少	、各団体σ	れるものの、新型コ 活動が活発になった と判断する。			
内部環境評価	2:一部計画通り 実施できなかった)減少がみら &げてきたた	れますが、登録団体 ざきたい。	の要望に沿った	取組みを実施し、課	

令和6年度	<u>評価 環境管理計画</u>	可•環境評価調	<u>書(令和5年月</u>	<u> </u>		事業コード	4 — 1 — d	
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課(住	宅まちづくり課)		担当係	まちづくり支援係	
		別指標の内容			現状値(年度)		[値(目標年度)	
海老名市地域緑化事業への登録団体数					19団体(R1/2019)	19団体	(R11/2029	
計画体系上	基本方針 施策の方針		でえびなの環 を考え、行動「		行動します			
の位置付け			心度(環境ア)	ンケート:以	前と比べて関心度合いか	高くなったと[回答した人の割合)	
	主 / > 田7 ※日	の脚亜	令和5年原	度事務事業 	環境管理計画 目標値への達成見込		予算額	
主な取組の概要				日保恒への達成兄込		17 异假		
を行う団体	る地域緑化の推進 が実施する緑地等 る経費に対して補	整備事業及び	「緑地等管理	18団体			587 千日	
	- 1-2 (進捗率:94.	7% り発見した課題等			
			<u> </u>	未の天心によ	9光兄しに味起寺			
特になし								
			令和5年周	度事務事業に何				
	有益影響				有害影響			
・緑を保全	・育成する意識の	向上	_					
.	思定されるコミュニケー	ーション		コミュニケーションへの対応				
• 緑化手法	に関する問い合わ	世	• 適切な約	・適切な緑化手法の周知				
)	Le lorge		令和5年	F度事務事業	実施結果			
主な取組結果 	の概要						目標値達成実績	
令和3年度 補助金交付実績 17件 502,000F			000円	9			17/19団体	
			,0011				達成率:89.5%	
令和4年度 補助金交付実績 18件 508,000F			000円	Ч			18/19団体	
							達成率:94.7%	
							18/19団体	
令和5年度 補助金交付実績 18件 508,000F 令和5年度の事務事業における変更点及び実施により)00円				10/19回件	
			- 1.113% = 1 + ==1	22日 +_ → 昭 <i>生</i>			達成率:94.7%	
予和5年度の	事務事業における変	サログ ひ 美地に	-より発見した誄	<u></u> 退寺				
変更点	2 L							
課題等]体数を増やすた。	りに、地域緑色	化事業補助金領	制度のさらな	よる周知が必要			
			令和 5 年	丰度事務事業	環境評価			
評価区分	評	価	1,18	1 2 7 12 7 71	判断理由及び	中容		
担当部課 環境評価	3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮		同様、多くの団体が活動を行い、市民に対する緑化への関心を広げるこ きたため。				
内部環境評価	3:概ね計画通 実施できた。	りの環境配慮	を 地域緑化	事業補助制度	と支持します。 と支持します。 医の登録団体が高水準で 返し、目標年度前の目標			

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み	状況シート(令和5年度分)
目標指標 (目標値(年度))	令和5年度実績
環境への関心度(環境アンケート:以前と比べて関心 度合が高くなったと回答した人の割合) (48.0%(令和11年度))	アンケート実施なし
〇上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み たと考える取組みについて以下に記入してください	
〇記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量 囲で具体的に記入してください。	遣的に)、今後の課題等を可能な範
〇記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する ステム専門部会による外部評価)における参考資料	
○令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影 いなかったが、令和5年度は市内小学校から2件位	
○YouTubeでも継続して啓発を行っている。	